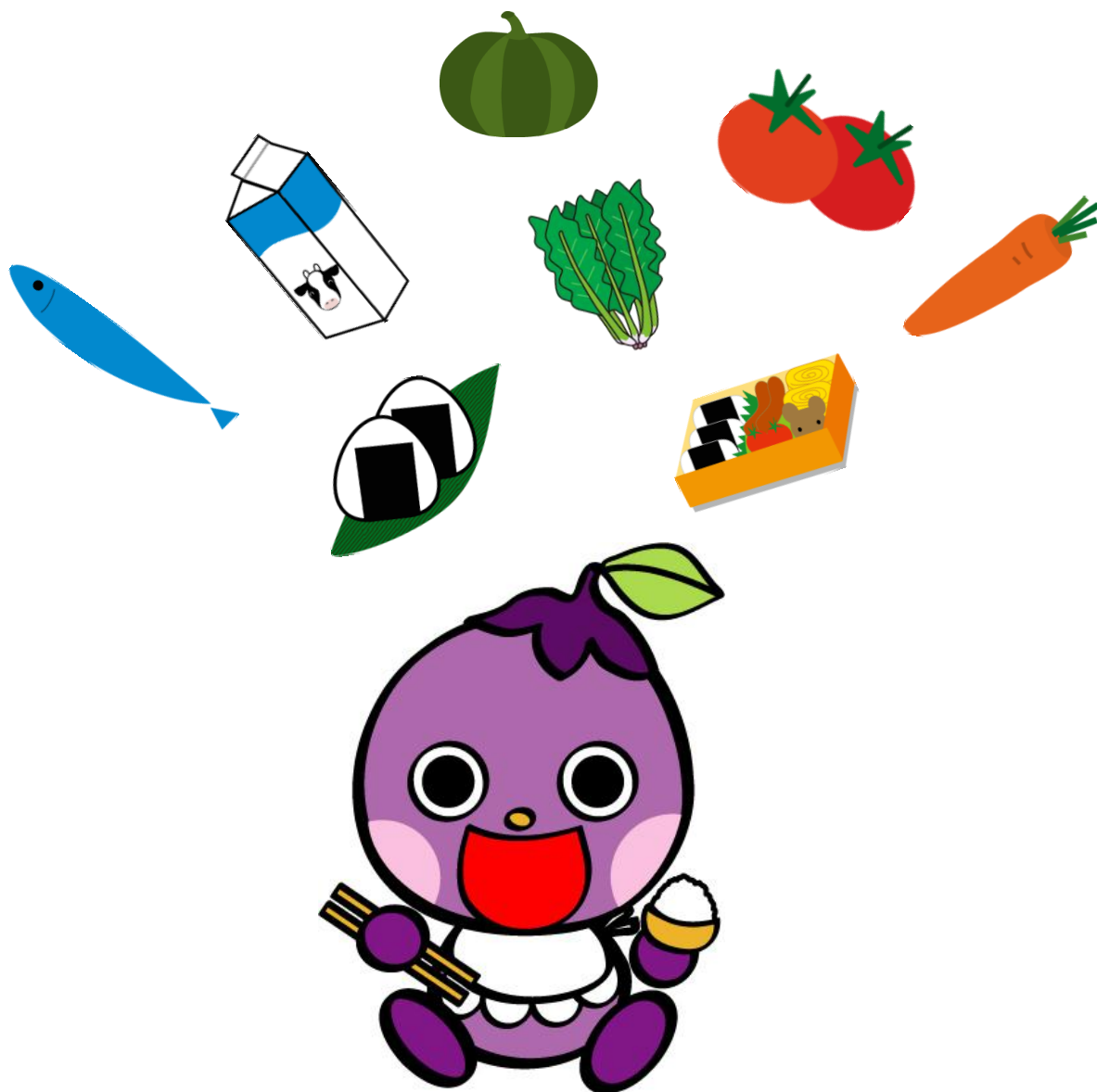


平成 25 年度京都府食育推進行動計画

【実績報告】



きょうと食育ネットワーク
マスコット なす坊

平成 26 年 7 月
京 都 府

【 目 次 】

1	取組一覽	1
2	取組の展開	5
(1)	世代に応じた食育の推進	5
ア	子どもの食育支援	5
イ	学生等若い世代の食育支援	10
ウ	中年の食育支援	12
エ	高齢者の支援	13
(2)	家庭における食育の推進	15
(3)	地域における食育の推進	18
3	数値目標	24

平成23年3月に策定した「第2次京都府食育推進計画」に基づき、京都府における食育の取組の実施状況を管理・点検し、食育を総合的かつ効果的に推進していくため、平成25年度における実行計画として、この計画を策定します。

なお、この計画は第2次京都府食育推進計画の「4 施策の展開」の体系に沿って作成されています。

< 計画策定から実施までのステップ >

- ① 昨年度の食育推進行動計画の実施状況を点検
- ② きょうと食育ネットワーク幹事会において、意見照会
- ③ ①、②を踏まえ、今年度の計画を策定
- ④ それぞれが、計画に基づき、取組を実施

1 取組一覧

第2次京都府食育推進計画		評価	平成25年度の取組事項	担当	
(1) 世帯に応じた食育の推進	ア 子どもの食育支援	①農作物栽培や家畜の世話、調理等、農業や食に関する体験活動の充実			
		A	◆府施設を活用した様々な食育・環境体験教室の開催	自然環境保全課	
		A	◆子供を対象とした農業体験の開催	農村振興課	
		B	◆府関連施設を活用した農林漁業体験	農村振興課(丹後あじわいの郷)	
		A	◆きょうと食いく先生養成講座の開講と認定	食の安心・安全推進課	
		B	◆食農体験農場の開設推進	食の安心・安全推進課	
		A	◆京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組	食の安心・安全推進課	
		A	◆調理実習等の充実	学校教育課、高校教育課	
		A	◆地域の人材を活用した体験学習等の実施	保健体育課	
		A	◆特産品を通じた食育活動	丹後広域振興局	
		A	◆農業者による食育活動の支援	丹後広域振興局	
		②食に関する体験・学習できる施設等の情報提供			
		A	◆該当施設に関する情報の収集・提供	食の安心・安全推進課	
		A	◆食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供	食の安心・安全推進課	
		③親子料理教室等の開催			
		A	◆食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援	各保健所、健康対策課	
		A	◆食育講座の開催	食の安心・安全推進課	
		④地場産物の活用や郷土料理・行事食など地域の特色をいかした給食・調理実習の実施			
		A	◆特定給食施設等巡回指導・従事者講習会などによる地域の特色を活かした給食の提供を支援	各保健所、健康対策課	
		A	◆生産者と学校を結ぶコーディネーターの育成	食の安心・安全推進課	
		A	◆京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 【再掲】	食の安心・安全推進課	
		A	◆きょうと×きょうど料理サミットの開催	食の安心・安全推進課	
		A	◆地場産物を取り入れた学校給食の促進	保健体育課	
		A	◆教育実践パートナーシップ活動(地域特産品づくり)の実施	丹後広域振興局	
		⑤食生活改善推進員や生活研究グループ、生産者等地域の食の専門家の協力を得た食育の取組			
		A	◆食生活改善推進員活動の支援(リーダー研修会の実施)	各保健所、健康対策課	
		A	◆食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供 【再掲】	食の安心・安全推進課	
		A	◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課	
		A	◆京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 【再掲】	食の安心・安全推進課	
		A	◆きょうと×きょうど料理サミットの開催 【再掲】	食の安心・安全推進課	
		A	◆地域の人材を活用した体験学習等の実施 【再掲】	保健体育課	
		A	◆栽培から加工まで一貫した食育の推進	南丹広域振興局(農林商工部)	
		A	◆学校の食育授業に対する支援	丹後広域振興局	
		⑥食に関する指導と給食の管理を行う栄養教諭の配置拡充、採用の維持			
		A	◆採用選考試験等の実施	教職員課	
		⑦食育に関する教職員の意識向上及び資質向上			
		A	◆特定給食施設等巡回指導・従事者講習会など	各保健所、健康対策課	
		A	◆教職員研修の充実	保健体育課	
		A	◆乙訓学校給食研究大会の開催	乙訓教育局	
		A	◆山城地方食育・学校給食研究協議会の開催	山城教育局	
		A	◆南丹地区食育・学校給食研究協議会の開催	南丹教育局	
		A	◆中丹地区食育・学校給食研究大会の開催	中丹教育局	
A	◆丹後食育・学校給食研修会の開催	丹後教育局			
⑧他校種(幼・保、小、中、高等)と連携した食育の推進					
A	◆特定給食施設等従事者講習会	各保健所、健康対策課			
A	◆校種間連携による食育の推進【再掲】	保健体育課			
A	◆小学校、高校、大学が連携した「パートナーズクール事業」の実施	南丹教育局			
A	◆学校給食における地元産食材の利用と食育の推進	中丹広域振興局(農林商工部)			

第2次京都府食育推進計画		平成25年度の取組事項	担当
(1) 世代に応じた食育の推進	ア 子どもの食育支援	⑨あらゆる機会を通じた「食」に関する指導	
		A ◆特定給食施設等巡回指導・従事者講習会など 【再掲】	各保健所、健康対策課
		A ◆出前講座への対応	各保健所、健康対策課
		A ◆「こどもたちのための食と環境講座」の実施	農政課
		A ◆学校での水産教室の開催	水産課
		A ◆学校給食を活用した食育の推進	保健体育課
		A ◆地域で生産される京野菜等について食育教室を開催	南丹広域振興局(農林商工部)
		A ◆子ども向け食育指導媒体の作成と普及	丹後保健所
	イ 学生等若い世代の食育支援	①援農ボランティア活動等を通じた学生の農林漁業体験の推進	
		②生協等の学生食堂と連携した「朝ごはんを毎日食べる」運動等の展開、郷土料理・行事食提供の推進	
		A ◆食情報提供店への加入促進	各保健所、健康対策課
		A ◆料理教室の開催	食の安心・安全推進課
		③大学と連携した食育の推進	
		A ◆献血時における大学生等を対象にした栄養相談	薬務課
		A ◆料理教室の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
		A ◆「京都米の良さ発見！」提案の募集	農産課
		④親子農林漁業体験の推進	
		A ◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
		A ◆特用林産物の栽培体験等	林務課
		⑤食に関する体験・学習ができる施設等の情報提供	
		A ◆該当施設に関する情報の収集・提供 【再掲】	食の安心・安全推進課
		⑥生産現場での意見交換等の生産者と消費者との交流の促進	
		A ◆意見交換・シンポジウムの開催	食の安心・安全推進課
		A ◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
		⑦きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進	
		A ◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発	食の安心・安全推進課
		A ◆スーパーマーケット等での食育啓発活動	食の安心・安全推進課
A ◆食育講座の開催 【再掲】		食の安心・安全推進課	
⑧職場での料理教室の推進			
⑨健康診査結果を活用した生活習慣病予防の取組の推進			
A ◆地域・職域連携推進会議	各保健所、健康対策課		
ウ 中年の食育支援	①健康審査結果を活用した生活習慣病予防の取組の推進		
	A ◆地域・職域連携推進会議 【再掲】	各保健所、健康対策課	
	A ◆働きざかり世代への食を通じた健康づくり	南丹保健所	
	②企業食堂と連携した郷土料理・行事食提供の推進		
	A ◆健康ばんざい京のおばんざい弁当シリーズの取組	健康対策課	
	A ◆「たんとおあがり京都府産」施設(京都府産農産物利用推進施設)の認定	食の安心・安全推進課	
	③職場での料理教室の推進		
	④きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進		
	A ◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発 【再掲】	食の安心・安全推進課	
	A ◆スーパーマーケット等での食育啓発活動 【再掲】	食の安心・安全推進課	
A ◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課		
エ 高齢者の支援	①社会福祉団体、商店街、流通事業者等と連携した調理実習体験や買い物弱者支援		
	A ◆高齢者等への買い物支援	商業・経営支援課	
	②高齢者の生活を充実させるための活動支援		
	A ◆SKYふれあいフェスティバルにおける高齢者の栄養改善に係る普及啓発	高齢者支援課	
	A ◆地域・職域連携推進会議 【再掲】	各保健所、健康対策課	
	③技能や技術を活用した農業や料理の体験の場等における活動支援		
	A ◆農山漁村伝承技能の登録・認定	研究普及ブランド課	
	④きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進		
A ◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発 【再掲】	食の安心・安全推進課		
A ◆スーパーマーケット等での食育啓発活動 【再掲】	食の安心・安全推進課		
A ◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課		

第2次京都府食育推進計画	平成25年度の取組事項	担当
(2) 家庭における食育の推進	①「朝ごはんを毎日食べる」運動等の展開	
	A ◆各種イベントでの啓発	各保健所、健康対策課
	A ◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆スーパーマーケット等での食育啓発活動 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆就学前の子どもを持つ保護者への支援	社会教育課
	A ◆「みんなでコラボin中丹」のはぐみ教室(「基本的な生活習慣」「親のための応援塾」)の開催	中丹教育局
	②「食」の大切さや望ましい食習慣等についての啓発	
	A ◆出前講座への対応 【再掲】	各保健所、健康対策課
	A ◆各種イベントでの啓発	各保健所、健康対策課
	A ◆食のスクラップコンクール実施	食の安心・安全推進課
	A ◆各種イベントでの啓発	食の安心・安全推進課
	A ◆スーパーマーケット等での食育啓発活動 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆家庭における食育推進をねらいとした啓発	乙訓保健所、乙訓教育局、京都乙訓農業改良普及センター
	A ◆家庭における食育推進をねらいとした啓発	山城南保健所
	A ◆直売所店舗での「なんたん・かんたん・やさい料理」レシピカード配付	南丹保健所
	A ◆「みんなでコラボin中丹」のはぐみ教室(「基本的な生活習慣」「親のための応援塾」)の開催【再掲】	中丹教育局
	A ◆食育フェスタの開催	丹後保健所
	③栄養指導・相談対応の充実	
	A ◆保育所等への支援	各保健所、健康対策課
	A ◆スーパーマーケット等での食育啓発活動 【再掲】	食の安心・安全推進課
	④親子料理教室等、「食」を楽しみながら学ぶ機会の提供	
	A ◆食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援 【再掲】	各保健所、健康対策課
	A ◆府関連施設を活用した農林漁業体験	農村振興課(丹後あじわいの郷)
	A ◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	⑤初めて父親、母親になる夫婦の子育てを意識した食育における保健・医療機関、NPO等の連携による取組	
	⑥きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進	
	A ◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
A ◆スーパーマーケット等での食育啓発活動 【再掲】	食の安心・安全推進課	
(3) 地域における食育の推進	①五感を活性化させる食農体験の場づくりの推進	
	A ◆府施設を活用した様々な食育・環境体験教室の開催 【再掲】	自然環境保全課
	B ◆食農体験農場の開設推進 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆道の駅・直売所等を会場とした、食育キャンペーンの開催	南丹保健所
	A ◆シイタケの原木栽培体験の実施	南丹広域振興局(農林商工部)
	A ◆農作業応援体験ツアーの開催(おいしい食の応援隊)	南丹広域振興局(農林商工部)
	A ◆直売所等を巡るクイズラリーの実施	南丹広域振興局(農林商工部)
	②食育を推進する人材の育成	
	A ◆管内栄養士ネットワーク推進事業	各保健所、健康対策課
	A ◆食生活改善推進員活動の支援(リーダー研修会の実施) 【再掲】	各保健所、健康対策課
	A ◆特定給食施設等従事者講習会 【再掲】	各保健所、健康対策課
	A ◆きょうと食いく先生養成講座の開講と認定 【再掲】	食の安心・安全推進課
	③学校や福祉施設などの給食での地産地消の推進	
	A ◆特定給食施設等巡回指導・従事者講習会などによる地域の特色を活かした給食の提供を支援【再掲】	各保健所、健康対策課
	A ◆生産者と学校を結ぶコーディネーターの育成 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆「たんとおあがり京都府産」施設(京都府産農産物利用推進施設)の認定 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆地場産物を取り入れた学校給食の促進 【再掲】	保健体育課
	A ◆食堂で「地産地消の日」を設定(おいしい食の応援隊)	南丹広域振興局(農林商工部)

第2次京都府食育推進計画	平成25年度の取組事項	担当
(3) 地域における食育の推進	④食生活改善推進員や生活研究グループ等が行う郷土料理・行事食の料理教室等の活動の推進	
	A ◆食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援 【再掲】	各保健所、健康対策課
	A ◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆きょうと×きょうど料理サミットの開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	研究普及ブランド課
	⑤きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進	
	A ◆食育強化月間における関係団体と連携した啓発 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆食育講座の開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆スーパーマーケット等での食育啓発活動 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆きょうと×きょうど料理サミットの開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	⑥生産者と消費者との生産現場での意見交換等交流の促進	
	A ◆意見交換・シンポジウムの開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆環境にやさしい農業に取り組むエコファーマーと消費者の交流会の開催	農産課
	A ◆京都米提供店の登録	農産課
	A ◆都市漁村交流の促進	水産課
	A ◆消費者応援隊活動の実施(おいしい食の応援隊)	南丹広域振興局(農林商工部)
	A ◆食育コーナーの設置による食育啓発活動の実施	南丹地域食の安心・安全プロジェクトチーム(南丹広域振興局農林商工部、企画総務部、南丹保健所、南丹家畜保健衛生所、南丹教育局)
	B ◆中丹“食の環”づくり交流会の開催	中丹広域振興局(農林商工部企画調整室、中丹東・西農業改良普及センター、中丹西・東保健所)、水産事務所
	⑦食の安心・安全についての関係機関と連携した情報提供	
	A ◆きょうと健康長寿推進府民会議	各保健所、健康対策課
	A ◆京都の伝統食品や加工技術を紹介する展示会等の開催	染織・工芸課
	A ◆意見交換・シンポジウムの開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
	A ◆京都府及び関係機関の「食」に関する情報の提供	食の安心・安全推進課
	A ◆京都発! 食とみどりのサイエンスNOW	農林水産技術センター企画室(研究普及ブランド課)
	A ◆「海まるごと体験」の実施	海洋センター(研究普及ブランド課)
	⑧社会福祉団体、商店街、流通事業者等と連携した調理実習体験や買い物弱者支援	
	A ◆高齢者等への買い物支援 【再掲】	商業・経営支援課
	⑨優良事例の紹介及び取組の拡大	
	A ◆きょうと×きょうど料理サミットの開催 【再掲】	食の安心・安全推進課
A ◆食育シンポジウムの開催	食の安心・安全推進課	
A ◆「きょうと食育事例集」の作成	食の安心・安全推進課	
B ◆市町村食育推進計画の策定支援	食の安心・安全推進課	
A ◆管内市町が策定する食育推進計画の策定支援	乙訓保健所、乙訓教育局、京都乙訓農業改良普及センター	
A ◆山城の食育の取組情報を発信	山城広域振興局(農林商工部)	
A ◆食育・地産地消啓発パネルの作成・展示	山城広域振興局(農林商工部)	
A ◆丹後食育活動事例の募集	丹後保健所	

A:実施済
141/146(97%)
B:未完了・未達成
5/146(3%)

2 取組の展開


(1) 世代に応じた食育の推進


乳幼児期から高年期までそれぞれのライフステージにおいて、必要な「食」に関する能力を習得していくことで、生涯を通じて心身共に健康で豊かな生活を営むことができますが、望ましい食生活が実践できていません。

例えば、子どもは命と食の大切さを理解するための体験が不足していたり、学生等の若者は知識と技術が不足しているために食が貧しい状況にあたり、高齢者では新鮮な食料の入手が困難な状況、買い物弱者が発生するなど世代により課題に特徴があります。


ア 子どもの食育支援

① 農作物栽培や家畜の世話、調理等、農業や食に関する体験活動の充実

取組事項	取組の内容	担当
府施設を活用した様々な食育・環境体験教室の開催	<p>府立丹後海と星の見える丘公園において、指定管理者主催により、生ゴミを堆肥化して土づくりから農作物の栽培・収穫体験・火おこしからおくどさん（かまど）を使った調理体験、石窯を使ったパン焼き体験などさまざまな食育・環境体験教室を開催し、宿泊者等には地元産食材を使った食育を大切に料理を提供します。</p> 	自然環境保全課
	取組の実績	評価
		A
	<p>地元産食材を利用した調理教室や石窯ピザ焼き教室（35回開催、参加者724人）、農作物播種・収穫（米、人参等）体験（17回開催、参加者166人）、ゼロエミ（生ゴミの堆肥化）教室（9回開催、参加者254人）など、学校や団体客等の希望に応じて食をテーマにした体験プログラム等、合わせて60回以上の食育・環境体験教室を実施。</p>	

取組事項	取組の内容	担当
子供を対象とした農業体験の開催	<p>地域の高齢化が進み、農業への関心も希薄になる中、将来を担う子供達の参加による植え付け体験や収穫体験を通じて、農業に対する関心を深めるためのイベントを地域団体が主体となって開催します。</p> <p>目標値：農業体験イベント 10地区</p> 	農村振興課
	取組の実績	評価
		A
	<p>企画公募型ふるさと保全活動を府内11地区で開催。植え付け～草引き～収穫までの複数回開催する地区もあり、子供たちが生産の楽しみ、食の大切さを知る機会となっている。</p>	

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
府関連施設を活用した農林漁業体験	<p>サツマイモづくりやブルーベリー、イチゴなどの収穫体験活動を推進します。 目標値：参加者 900名</p> 	農村振興課 (丹後あじわいの郷)
	取組の実績	評価
	<p>〇いちご収穫体験(230人)、ブルーベリー収穫体験(313人)、さつまいも収穫体験(不作のためオーナーのみ27人)、大豆播種体験(7人)、古代米田植え体験(29人)・稲刈り体験(6人)を実施。また、中高生による園芸作業や牧舎管理などの職場体験(102人)も実施。合計714人 〇天候等の影響によりサツマイモが不作であったため、参加者が少なかった。</p>	

取組事項	取組の内容	担当
きょうと食いく先生養成講座の開講と認定	<p>学校等において、専門的な知識を有し農作業や調理を指導できる人材を育成するため、養成講座を開講し、きょうと食いく先生の認定を行います。 目標：養成講座開催 2回 きょうと食いく先生の認定 50名以上</p>	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<p>農林水産業、食品加工、料理部門の専門家を新たに72名認定した。今後、引き続き、「きょうと食いく先生」の認定をすすめていく。また、「子どもにわかりやすい食育」をテーマに養成講座を2回開催した。</p>	

取組事項	取組の内容	担当
食農体験農場の開設推進	<p>子どもたちが五感を使って、種まき・苗植え、草引き、施肥、収穫、調理など一連の農作業体験と食に関する学習ができる農場の開設を支援します。 目標：きょうと食農体験農場の登録 15ヶ所</p>	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<p>今年度、3農場へ登録制度を説明。次年度登録へ向けて、推進を図った。新たに「学ぶ」「食べる」「買う」きとができる直売所や食農体験農場等を「京野菜ランド」として登録。食や農について学べる施設として、37施設を登録。</p>	

取組事項	取組の内容	担当
京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組	<p>京都市と連携して運営する施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」において、京都府ならではの食材、行事等にまつわる食文化、健康を意識した体験型の食育教室等を開催します。</p>	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<p>〇きょうと食いく先生などの講師を招き、京野菜などの京都府産食材や、おばんざいや和菓子などの食文化をテーマとしたきょうと食育体験教室を10回開催。(農産課、畜産課、林務課、健康対策課とのコラボイベントも実施) その他、研究・普及ブランド課や各広域振興局と連携したお茶の淹れ方教室などの体験教室を8回開催 〇大阪ガスと連携した親子向け食育体験教室の開催(10回) テーマ：宇治茶、京野菜、魚、京都米、おばんざい、豆腐、漬物</p>	

取組事項	取組の内容	担当
調理実習等の充実	基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、日常生活で活用できるようにします。食文化を継承しつつ、健康と安全に配慮して調理を工夫し、食事を作る楽しさや食べる喜びを味わうことができますようにします。	学校教育課 高校教育課
	取組の実績	評価 A
	○各学校では、家庭科、技術・家庭科等の授業において、栄養教諭等との連携や地域の専門家等の協力を得るなど様々な工夫を凝らしながら、地域の特性を生かした調理実習等の充実を図っている。	

取組事項	取組の内容	担当
地域の人材を活用した体験学習等の実施	「栄養教諭を中核とした食育推進事業」において、地域の他校種の学校や関係機関と連携を図り、地元の食に関する体験学習等を取り入れながら食育を推進します。	保健体育課
	取組の実績	評価 A
	○各学校では、地域の生産者や関係団体等と連携し作物栽培や調理実習等の体験学習を実施している。 ○「栄養教諭を中核とした食育推進事業」の指定地域においては、地域の食生活推進員の協力を得て調理実習や生産者を招いての招待給食、栽培体験等の取組により、子どもたちに地元の産物や食文化への理解を深め、郷土への関心を高めた。併せて、研修会の実施や冊子を作成・配布し、その成果を普及した。 ○農林水産部の事業である「きょうと食いく先生」を活用し、調理実習や食品加工体験等に取り組んだ。	

取組事項	取組の内容	担当
特産品を通じた食育活動	小学生やその保護者等に、丹後管内の特産物を理解する機会を提供するため、歴史や栽培方法の説明、調理講習、試食などを行います。	丹後広域振興局
	取組の実績	評価 A
	2月12日、養老小学校4年生を対象に宮津市田原に伝わる保存食の「へんごさもち」づくり体験を実施。へんごさもちの由来や作り方、食べ方を学んだ後、実際に作り、試食した。	

取組事項	取組の内容	担当
農業者による食育活動の支援	小学生や都会の消費者を対象に地元の農業者が実施する農作業体験、郷土料理体験活動を支援します。	丹後広域振興局
	取組の実績	評価 A
	3月6日に大宮南小学校6年生20名を対象に家庭科の授業で、農業者4名による丹後の郷土料理すいきごはんや梅干しを使った野菜の肉巻き、手作りみその味噌汁などを実習し、丹後に伝わる郷土食についての話を聞いたあと、試食しました。	

② 食に関する体験・学習できる施設等の情報提供

取組事項	取組の内容	担当
該当施設に関する情報の収集・提供	<p>該当施設についての情報をホームページを通じて情報提供します。</p>	食の安心・安全推進課
	<p>取組の実績</p>	<p>評価</p>
	<p>○京都府ホームページ内に開設している「食と農の体験施設」ページにおいて、地域別（京都市・山城・南丹・中丹・丹後）、内容別（食べる・作る・学ぶ・育てる）で情報提供を実施。 http://www.pref.kyoto.jp/syokuiku-spot/index.html</p>	<p>A</p>



取組事項	取組の内容	担当
食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供	<p>「きょうと食育ネットワーク」を通じて、府内で行われている食育支援の活動を登録し、ホームページ等で情報提供することで、食育に取り組むにあたって必要な情報を容易に取得できるようにします。</p> <p>【食育支援の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア活動 ○講師の派遣 ○農林漁業体験プログラム ○企業・工房等の見学 ○教材等の提供 <p>等</p>	食の安心・安全推進課
	<p>取組の実績</p>	<p>評価</p>
	<p>○「きょうと食育ネットワーク」において、会員団体及び「きょうとの食育」サポート企業における食育支援の活動を登録し、ネットワークのホームページに掲載することで情報提供を実施。</p>	<p>A</p>

③ 親子料理教室等の開催

取組事項	取組の内容	担当
食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援	<p>食生活を通じた健康づくりのボランティア団体である食生活改善推進員が、各地域でおやこ食育教室等に取り組むにあたり、取組の支援や技術向上のためのリーダー研修会を実施します。</p>	各保健所 健康対策課
	<p>取組の実績</p>	<p>評価</p>
	<p>○各保健所において、食生活改善推進員リーダーを対象とした研修会を11回開催、延べ413名が参加。</p>	<p>A</p>

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<p>○石窯DEピザランチ（玉ねぎの収穫、ピザの調理） 平成25年6月9日【京都生活協同組合、いこいの村聴覚言語障害センター（綾部）】</p> <p>○小学校での食育活動（旬の野菜を使った郷土料理の調理実習） 平成25年7月6日【長岡京市、乙訓地域生活研究グループ連絡協議会】</p> <p>○小学校での食育活動（旬の野菜を使った郷土料理の調理実習） 平成25年7月17日【長岡京市、乙訓地域生活研究グループ連絡協議会】</p> <p>○おやこ手作りパン教室 平成25年9月7日【京都生活協同組合】</p> <p>○つくって味わおう おやこで手づくりマヨネーズ 平成25年9月28日【京都生活協同組合】</p> <p>○小学校での食育活動（旬の野菜を使った郷土料理の調理実習） 平成25年9月30日【長岡京市、乙訓地域生活研究グループ連絡協議会】</p> <p>○生活表現講座（「京のおばんざい料理、京都米」についての講演） 平成25年11月1日【（一社）京都府米食推進協会】</p> <p>○ひらめき☆ときめきサイエンス（おせち料理にチャレンジ） 平成25年12月21日【京都府立大学大学院生命環境科学研究科食事科学研究室】</p> <p>○いきいき健康フェア（だいこんを丸ごと使ったエコクッキング） 平成26年1月19日【（公社）京都府栄養士会】</p> <p>○小学校での食育活動（旬の野菜を使った郷土料理の調理実習） 平成26年2月25日、2月26日【長岡京市、乙訓地域生活研究グループ連絡協議会】</p> <p>○京の味ごちそう展（おいしいだしの取り方） 平成26年2月22日【NPO法人日本料理アカデミー、高島屋京都店】</p>	A




④ 地場産物の活用や郷土料理・行事食など地域の特色をいかした給食・調理実習の実施

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等巡回指導・従事者講習会などによる地域の特色を活かした給食の提供を支援	<p>給食を実施している施設で、地域の特色や工夫を活かした給食の提供ができるよう、保健所による給食施設巡回指導時の個別相談により支援します。</p> <p><特定給食施設> 健康増進法第20条では、特定かつ多数の者に対して継続的に1回100食以上または1日250食以上の食事を提供する施設。 ただし、府ではそれ以下の食数の施設に対しても指導対象施設としている。</p>	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
	<p>○特定給食施設等巡回指導時に、栄養指導員が個別相談に対応。</p> <p>○特定給食施設等の給食従事者、食育担当者等を対象とした講習会・研修会を17回開催、延べ810名が参加。</p>	A

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当	
生産者と学校を結ぶコーディネーターの育成	学校・保育園給食への地元農林水産物の供給を拡大するため、地元の農林水産物の旬・生産状況と学校給食のニーズを把握し、生産者と学校の調整活動を行うコーディネーターを育成します。 目標：育成研修会開催 1回	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○学校給食コーディネーター育成研修会1回開催。 栄養教諭を対象に京都府の水産業について、市場及び加工場を見学し、地元漁業関係者との意見交換を行うことで、京都府産の魚への理解が深まり、学校給食への活用につながった。		

取組事項	取組の内容	担当	
京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 再掲(1)ア①	京都市と連携して運営する施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」において、京都府ならではの食材、行事等にまつわる食文化、健康を意識した体験型の食育教室等を開催します。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○きょうと食いく先生などの講師を招き、京野菜などの京都府産食材や、おばんざいや和菓子などの食文化をテーマとしたきょうと食育体験教室を10回開催。 (農産課、畜産課、林務課、健康対策課とのコラボイベントも実施) その他、研究・普及ブランド課や各広域振興局と連携したお茶の淹れ方教室などの体験教室を8回開催 ○大阪ガスと連携した親子向け食育体験教室の開催(10回) テーマ：宇治茶、京野菜、魚、京都米、おばんざい、豆腐、漬物		

取組事項	取組の内容	担当
きょうと×きょうと料理サミットの開催	和食のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運を醸成し、地域に根ざした郷土料理などを次の世代に伝承し、育んでいくため、「きょうと×きょうと料理サミット」を開催し、広く府民に郷土料理や地域の食文化の魅力を伝えます。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○きょうと×きょうと料理サミットを開催（平成26年1月18日（土）） 参加者：150名、会場：大阪ガスディリバ京都 ハルホール	A
	府内で郷土料理の伝承を行う食育推進リーダー等が各地域から集まり、地元の郷土料理の展示・PRを行った。30種類以上の郷土料理が集まり、試食を通じて、参加者と地域の郷土料理伝承者の交流が生まれ、参加者が郷土料理に触れる良い機会となった。 基調講演には森千鶴子氏をお招きし、「あるもの探しから始まる食育」というテーマでご講演いただいた。	
	  	

取組事項	取組の内容	担当
地場産物を取り入れた学校給食の促進	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食など取り入れることによって、子どもたちに地元産物や食文化への理解を深め、郷土への関心を高めます。	保健体育課
	取組の実績	評価
	○「栄養教諭を中核とした食育推進事業」、「食に関する指導充実事業」等の取組により、地場産物の活用など地域の特色を生かした学校給食等について実践的研究に取り組み、研修会や公開授業、発表会等で他の学校に成果を普及した。	A

(1) 世代に応じた食育の推進




取組事項	取組の内容	担当	
教育実践パートナーシップ活動（地域特産品づくり）の実施	宮津高校伊根分校の高校生と地域の生産団体が連携し、伊根地域の特産物である薦池大納言（小豆）を活用した商品開発に取り組む教育実践パートナーシップ活動を実施します。	丹後広域振興局	
	取組の実績	評価	A
	<p>11月に薦池大納言小豆の収穫体験を実施。その歴史や特徴を学習した。（参加者：15名） 今回学習内容をいかし、「広告と販売促進」というテーマで授業展開予定。地域にこんな貴重な農産物があることに参加者は感激。今後の学校の授業展開に期待する。</p> <p>当初予定していた以外にも、立命館大学及び龍谷大学の学生と地域の生産者等が連携し、教育実践パートナーシップ活動に取り組むことができた。</p> <p><立命館大学学生と地域の生産団体の連携> ○伊根地域の特産物である薦池大納言（小豆）を活用した商品開発 ・11月24日 学生を交えて試作品作り。（6名） ・12月3日 命の里交流会（参加人数123名）において試食、アンケート調査。 ・アンケートでは十分商品になるとの意見が大半をしめた。 今後は地域の女性グループでの販売予定。</p> <p><龍谷大学学生と地域の女性グループの連携> ○久美浜二区地域の農産物を活用した商品開発 ・10月26日 女性グループによる試作品作り（7名） ・12月7日 学生と女性グループ共同で試食作り。（21名） ・3月22日 女性グループによる試作品作り（8名）（2回目） ・来年度の大学学園祭で販売予定。</p>		

⑤ 食生活改善推進員や生活研究グループ、生産者等地域の食の専門家の協力を得た食育の取組

取組事項	取組の内容	担当	
食生活改善推進員活動の支援（リーダー研修会の実施）	保健所は、食生活改善推進員のリーダー層に研修会を行い、食育に関する最新知識や事例共有などの機会を提供し、効果的な活動が展開されるよう支援します。	各保健所 健康対策課	
	取組の実績	評価	A
	○各保健所において、食生活改善推進員リーダーを対象とした研修会を11回開催、延べ413名が参加。		

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 再掲(1)ア①	京都市と連携して運営する施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」において、京都府ならではの食材、行事等にまつわる食文化、健康を意識した体験型の食育教室等を開催します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○きょうと食いく先生などの講師を招き、京野菜などの京都府産食材や、おばんざいや和菓子などの食文化をテーマとしたきょうと食育体験教室を10回開催。 (農産課、畜産課、林務課、健康対策課とのコラボイベントも実施) その他、研究・普及ブランド課や各広域振興局と連携したお茶の淹れ方教室などの体験教室を8回開催 ○大阪ガスと連携した親子向け食育体験教室の開催(10回) テーマ：宇治茶、京野菜、魚、京都米、おばんざい、豆腐、漬物	A

取組事項	取組の内容	担当
きょうと×きょうと料理サミットの開催 再掲(1)ア④	和食のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運を醸成し、地域に根ざした郷土料理などを次の世代に伝承し、育んでいくため、「きょうと×きょうと料理サミット」を開催し、広く府民に郷土料理や地域の食文化の魅力を伝えます。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○きょうと×きょうと料理サミットを開催(平成26年1月18日(土)) 参加者：150名、会場：大阪ガスティリバ京都 パルホール 府内で郷土料理の伝承を行う食育推進リーダー等が各地域から集まり、地元の郷土料理の展示・PRを行った。30種類以上の郷土料理が集まり、試食を通じて、参加者と地域の郷土料理伝承者の交流が生まれ、参加者が郷土料理に触れる良い機会となった。 基調講演には森千鶴子氏をお招きし、「あるもの探しから始まる食育」というテーマでご講演いただいた。	A
	  	

取組事項	取組の内容	担当
地域の人材を活用した体験学習等の実施 再掲(1)ア①	「栄養教諭を中核とした食育推進事業」において、地域の他校種の学校や関係機関と連携を図り、地元の食に関する体験学習等を取り入れながら食育を推進します。	保健体育課
	取組の実績	評価
	○各学校では、地域の生産者や関係団体等と連携し作物栽培や調理実習等の体験学習を実施している。 ○「栄養教諭を中核とした食育推進事業」の指定地域においては、地域の食生活推進員の協力を得て調理実習や生産者を招いての招待給食、栽培体験等の取組により、子どもたちに地元の産物や食文化への理解を深め、郷土への関心を高めた。併せて、研修会の実施や冊子を作成・配布し、その成果を普及した。 ○農林水産部の事業である「きょうと食いく先生」を活用し、調理実習や食品加工体験等に取り組んだ。	A

取組事項	取組の内容	担当
栽培から加工まで一貫した食育の推進	農産加工グループの協力を得て、地元の小学生に、大豆栽培から味噌加工までを一貫して指導し、農業生産や食の大切さを伝えます。	南丹広域振興局(農林商工部)
	取組の実績	評価
	大豆は種から味噌加工まで一貫した食育 ① 大豆のは種 (H25年 6月 4日) ② 大豆の収穫 (H25年11月 6日) ③ 収穫した大豆で白味噌づくり (H25年11月22日) ④ 熟成した白味噌で「みそ汁」を試食 (H25年12月17日) 以上4回開催、管内K小学校5年生36名に農産加工グループの協力を得ながら、大豆栽培から味噌加工まで一貫した食育指導を行いました。 小学生からは、「大豆の種まきや収穫は楽しかった」、「白味噌づくりははじめてで良い経験になった」、また、白味噌で作ったみそ汁は「甘くて美味しい」などの声を聞くことができました。 大豆栽培から味噌加工まで一貫した食育の取組は、小学生にとって貴重な経験になりました。	A

取組事項	取組の内容	担当
学校の食育授業に対する支援	地元の農業者等の協力を得て小学校が実施する作物の植え付け体験、郷土料理の調理体験等の食育授業を支援します。	丹後広域振興局
	取組の実績	評価
	京丹後市丹後町上山の栗原さんが京丹後市丹後町宇川小学校5年生18名を対象に赤米学校を開校。 苗作り、田植え、除草 2回、稲刈り、収穫祭(餅つき大会) 計6回を実施。	A

⑥ 食に関する指導と給食の管理を行う栄養教諭の配置拡充、採用の維持

取組事項	取組の内容	担当	
採用選考試験等の実施	専門性を有する栄養教諭の新規採用枠を引き続き設けます。	教職員課	
	取組の実績	評価	A
	○今年度、栄養教諭4名を新規採用し、全体で93名（京都市除く）の配置数となった。		

⑦ 食育に関する教職員の意識向上及び資質向上

取組事項	取組の内容	担当	
特定給食施設等巡回指導・従事者講習会など	保健所が実施する特定給食施設等巡回指導や従事者講習会の開催などにより、献立や食育に関する知識普及・情報提供等を行い、給食施設従事者の意識の向上を図ります。	各保健所 健康対策課	
	取組の実績	評価	A
	○保育所等の特定給食施設等へ訪問指導を、90施設実施。 ○特定給食施設等の給食従事者、食育担当者等を対象とした講習会・研修会を17回開催、延べ810名が参加。		

取組事項	取組の内容	担当	
教職員研修の充実	初任者・新規採用者への研修を実施するとともに、教育局別研修会などを開催することによって、学校における食育を推進するための教職員の意識向上及び資質向上を図ります。	保健体育課	
	取組の実績	評価	A
	○初任者・新規採用者研修をはじめ、「栄養教諭を中核とした食育推進事業」研修会、府学校給食研究協議大会や教育局別の食育・学校給食研修会等において教職員の食育推進に対する意識が向上するように研修を実施した。		

取組事項	取組の内容	担当	
乙訓学校給食研究大会の開催	乙訓管内の学校給食実施校及び各市町教育委員会の学校給食関係者を対象として、乙訓学校給食研究会と連携し、学校給食における管理運営・栄養管理や調理・食に関する指導についての諸問題を研究協議し学校給食の安全性の確保を図るとともに、健康教育の一環としての学校給食のより一層の充実と食育の推進を図るため、研修会を開催します。 ○7月25日(木) 向日市民会館	乙訓教育局	
	取組の実績	評価	A
	日 時：平成25年7月25日(木) 13:30~16:45 場 所：向日市民会館 参加者：学校給食関係者 約120名 内 容：講演 「調理で脳トレ～調理と脳の活性化研究から～」 大阪ガス株式会社 山下満智子氏 研究発表 献立研究～献立作成から給食実施まで～ 「食」に関する指導の充実をめざして		

取組事項	取組の内容	担当	
山城地方食育・学校給食研究協議会の開催	山城管内の学校、学校給食共同調理場及び市町(広域連合)教育委員会の教職員・調理員等学校給食関係者が食に関する指導についての理解を深め、学校教育活動全体を通じた食育の推進を図るとともに、学校給食の管理及び運営並びに食に関する指導について研究協議し、学校給食の安全性の確保と健康教育に関する指導のより一層の充実を図ります。 日時：平成25年7月25日(木) 開催 場所：久御山町コンベンションホール	山城教育局	
	取組の実績	評価	A
	学校給食関係者：209名 きょうと食いく先生の講演等を行い、野菜を自分で育てることで、食べ物大切に思う心を育てる食育について考える機会となった。学校給食の果たす役割を再認識するとともに、学校教育活動全体を通じた食育の必要性を確認した。		

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
南丹地区食育・学校給食研究協議会の開催	南丹管内の幼・小・中・府立学校・学校給食センター・市町教育委員会等の教職員及び調理員等が、食に関する指導や管理運営についての実践交流や家庭、地域社会、関係機関との連携による食育の推進について学び合い、安心・安全で、かつ生涯にわたる健康づくりの基盤となる学校給食の充実と、学校教育活動全体を通じた食育の推進を図ります。	南丹教育局
	取組の実績	評価
	平成25年8月6日(火) 南丹市日吉町生涯学習センターで開催 管内の幼稚園及び小・中学校、給食調理場職員、その他関係者ら約100名が参加 講演「成長期における発育・発達と食の重要性」(甲子園大学・木村祐子准教授) 実践発表①「『生きる力』をはぐくむ食の指導と安全管理」(詳徳小学校 教諭) 実践発表②「食に関する指導の充実を目指して」(園部小学校 栄養教諭) 特別発表「『弁当の日』の取組をとおして」(富本小学校 養護教諭) 参加者からは「各学校の取組がよくわかった。創意工夫ある指導の大切さを学んだ。」等の声が寄せられており、管内における食育の推進を図ることができました。	A

取組事項	取組の内容	担当
中丹地区食育・学校給食研究大会の開催	中丹管内の学校、学校給食共同調理場及び各市教育委員会の担当者が食育並びに給食の管理、運営及び指導について研究や協議をするとともに、食に関する指導、学校給食の安全性及び食中毒予防の一層の充実を図ります。 ○7月～8月 綾部市 目標値：25年度 計1回	中丹教育局
	取組の実績	評価
	1 日時：平成25年7月25日(木) 午後1時15分～午後4時30分 2 場所：綾部市中央公民館(綾部市里町久田21-25) 3 参加人数：115名 【成果】 ・京料理の料理人による食育の講演から、日本の風土にあった健康食の伝承という大きな視点に立った食育の重要性、学校として大切にすべき具体的な指導や活動等を研修することができた。 ・学校教育全体を通じて、組織的に食育を推進すること、学校給食を生きた教材として活用することを再確認できる機会となった。	A

取組事項	取組の内容	担当
丹後食育・学校給食研修会の開催	丹後管内の学校・学校給食センター・市町(組合)教育委員会の教職員・調理従事員・関係職員を受講対象者とし、管内における取組報告や研究協議を行うことにより、食に関する指導についての理解を深め、食に関する指導計画に基づいた学校教育活動全体を通じた食育の推進を図ります。	丹後教育局
	取組の実績	評価
	<p>○丹後食育・学校給食研修会を実施 日時：平成25年8月19日(月) 参加者数：141名 内容：・講演「学校における食育の推進と衛生管理の徹底について」 京都府教育庁指導部保健体育課 米浪指導主事 ・研究協議「学校教育全体を通じた食育の推進」 「衛生管理の改善充実」 主催：京都府教育委員会・京都府学校給食研究会 主管：丹後教育局・与謝地方学校給食研究会・京丹後市学校給食研究会 後援：丹後地方教育委員会連合会・公益財団法人京都府学校給食会 アンケート結果：研修内容に対する理解度 86.6%</p>	A

⑧ 他校種(幼・保、小、中、高等)と連携した食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等従事者講習会	特定給食施設等従事者講習会の場を活用し、情報提供や施設間の交流の場を提供することで、連携した食育を推進します。	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
	○特定給食施設等の給食従事者、食育担当者等を対象に実施した講習会・研修会の中で、施設間同士の情報交換や交流の場を設定。	A

取組事項	取組の内容	担当
校種間連携による食育の推進 再掲(1)ア①	「栄養教諭を中核とした食育推進事業」において、地域の他校種の学校や関係機関と連携を図り、地域の食に関する体験学習等を取り入れながら食育を推進します。	保健体育課
	取組の実績	評価
	○「栄養教諭を中核とした食育推進事業」の指定校においては、小・中学校合同の研修会の開催や、地域の高校生が加工したウインナーやアイスクリーム等を学校給食に取り入れるなどの校種間の連携を図り、系統的・計画的な食育の推進を図っている。併せて、研修会の実施や報告冊子を作成・配布しその成果を普及した。	A

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当	
小学校、高校、大学が連携した「パートナーズスクール事業」の実施	京丹波町立小学校と須知高校と京都大学大学院の校種の異なる三者が連携し、京都大学が持つ知的資源を須知高校の食品科学科の持つ「食」を中心とした農業教育等に生かしながら、それらの教育資源を地域の小学校に普及することによって、地域全体の食育推進へと繋げるとともに、京都丹波の地域の絆を深める機会とします。	南丹教育局	
	取組の実績	評価	A
	連携：下山小学校・須知高校・京都大学大学院及び和菓子職人の4者 目的：京丹波町の食材を使った「和のスイーツ」開発 開催：3回（6月・10月・12月）開催。延べ178名が参加 成果 <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが地元産食材（丹波大納言）を身近に感じることができました。 高校生は和菓子づくりを教わったことにより、今後の学習を深める契機となりました。 取組状況については教育局ホームページで公開しており、更に、NHK 京都放送局により放送されたことによって普及啓発することができました。 		

取組事項	取組の内容	担当	
学校給食における地元産食材の利用と食育の推進	学校給食への地元産食材の積極的な利用を働きかけるとともに、地域の農業・地域の農産物を通じて郷土を愛する心を育むため、小学校での食育授業を実施します。	中丹広域振興局（農林商工部）	
	取組の実績	評価	A
	中丹地域の特産ブランド京野菜「万願寺とうがらし」が旬となる夏場を中心に、管内の各市学校給食に利用されるように働きかけ地産地消を推進するとともに、中丹広域振興局農林商工部職員が小学校に出向いて食育授業を実施しました。 ○食育授業：実施時期6～11月、管内延べ9小学校、対象児童516名		

⑨ あらゆる機会を通じた「食」に関する指導

取組事項	取組の内容	担当	
特定給食施設等巡回指導・従事者講習会など 再掲(1)ア⑦	保健所が実施する特定給食施設等巡回指導や従事者講習会の開催などにより、献立や食育に関する知識普及・情報提供等を行い、給食施設従事者の意識の向上を図ります。	各保健所 健康対策課	
	取組の実績	評価	A
	○保育所等の特定給食施設等へ訪問指導を、90施設実施。 ○特定給食施設等の給食従事者、食育担当者等を対象とした講習会・研修会を17回開催、延べ810名が参加。		

取組事項	取組の内容	担当	
出前講座への対応	望ましい食習慣について啓発を図るため、保健所などからの出前講座を実施します。	各保健所 健康対策課	
	取組の実績	評価	A
	○食に関する出前講座を16回実施、1,086名が参加 （テーマ例）アルコール学習、口から食べる健康づくり、生活習慣病について		

取組事項	取組の内容	担当	
「こどもたちのための食と環境講座」の実施	地域の農林水産業やその環境が果たす役割についての理解促進を図るため、小・中学校などからの要請に基づいた出前講座を実施します。	農政課	
	取組の実績	評価	A
	平成26年3月末日までに計41回開催済み。(農業26回、林業12回、水産業5回)(参加者 約1,702名)		

取組事項	取組の内容	担当	
学校での水産教室の開催	子どもたちの水産物に対する興味を喚起し、理解を深めるため、京都府の職員が各種学校へ出向き、講義を行います。	水産課	
	取組の実績	評価	A
	「出前語らい」として、水産職員が出張授業を5回実施。 出席生徒 計278名		

取組事項	取組の内容	担当	
学校給食を活用した食育の推進	学校給食を生きた教材として活用し、給食の時間や関連教科等での指導を通じて、子どもたちに食への関心を持たせ、栄養バランスのとれた食事をとる自己管理能力を身に付けさせます。	保健体育課	
	取組の実績	評価	A
	○学校給食実施校では、学校給食を生きた教材として活用し、食に関する指導を実施している。 ○「栄養教諭を中核とした食育推進事業」、「食に関する指導充実事業」を実施する中で、実践中心校では実践研究を行うとともに、その成果を公開授業、発表会等により他の学校へ普及した。		

取組事項	取組の内容	担当	
地域で生産される京野菜等について食育教室を開催	学校等に出向き、地元特産物の栽培や調理方法を講義します。	南丹広域振興局(農林商工部)	
	取組の実績	評価	A
	「田んぼの学校」を学ぶ M小学校5年生15名は、「田んぼの学校」(授業)において、田植えから稲刈り・稲木干しまで地元農家の指導を受けて行い、「脱穀作業とお米について」は普及センターが説明・講義し、「脱穀作業」(H25年10月4日)まで行いました。 日本人の主食であるご飯が、「苗からお米が出来るまで」を体験しながら学びました。		

取組事項	取組の内容	担当	
子ども向け食育指導媒体の作成と普及	保育所、家庭等で使用可能な食育指導媒体を作成し、インターネット、特定給食施設等巡回指導等を通じて普及します。	丹後保健所	
	取組の実績	評価	A
	「朝ごはんを食べよう！元気度アップ技！」、「やさい食べているのはどこの部分？」、「おはし大作戦！」を作成し、保健所ホームページに掲載した。		

イ 学生等若い世代の食育支援

① 援農ボランティア活動等を通じた学生の農林漁業体験の推進

② 生協等の学生食堂と連携した「朝ごはんを毎日食べる」運動等の展開、郷土料理・行事食提供の推進



取組事項	取組の内容	担当	
食情報提供店への加入促進	事業所や大学の食堂等で栄養成分表示やヘルシーメニューを提供されるよう保健所は事業主に働きかけ、栄養のアドバイスや健康づくり情報の提供等の支援を行います。また、加入事業所を、府のホームページ等で広報します。	各保健所 健康対策課	
	取組の実績	評価	A
	○加入店舗数 555店舗（H26.3末現在） 各保健所から飲食店や事業所、食堂へ加入の呼びかけを行った。 加入基準等を検討し、加入店舗拡大のための会議を行った。		

取組事項	取組の内容	担当	
料理教室の開催	学生食堂等と連携し、大学生を対象とした料理教室を開催します。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○京都大学生協同組合・大阪ガス(株)と連携した料理教室の開催（3回） 京都大学生協同組合とその学生委員会である「あらんじえ」を主体に、大阪ガス(株)と協力して、3者で料理教室を開催。 学生自らが企画し、学生でもわかりやすく、自炊をする気になれるような工夫をしながら、「1日3回ちゃんと食べてる」「脱・おかず一品」「おうちパーティー」の3つのテーマに沿って実施。欠食しないことの重要性や、栄養バランスの取り方、誰かに料理を作ってもてなすことなど、さまざまな角度から自炊の魅力を伝える取組となり、自炊をする人が増えるなどの成果があった。 第1回：テーマ「1日3回ちゃんと食べてる」平成25年 5月11日 24名 第2回：テーマ「脱・おかず一品」平成25年6月8日 21名 第3回：テーマ「おうちパーティー」平成25年6月29日 24名		



③ 大学と連携した食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
献血時における大学生等を対象にした栄養相談	大学での献血等の機会を利用した栄養相談・食生活指導を(公社)京都府栄養士会の協力を得て実施します。 目標値：平成25年度 計25回	薬務課
	取組の実績	評価
	○栄養相談・食生活指導を25回実施。	
		A

取組事項	取組の内容	担当
料理教室の開催 再掲(1)イ②	学生食堂等と連携し、大学生を対象とした料理教室を開催します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○京都大学生生活協同組合・大阪ガス(株)と連携した料理教室の開催(3回) 京都大学生生活協同組合とその学生委員会である「あらんじえ」を主体に、大阪ガス(株)と協力して、3者で料理教室を開催。 学生自らが企画し、学生でもわかりやすく、自炊をする気になれるような工夫をしながら、「1日3回ちゃんと食べてる」「脱・おかず一品」「おうちパーティー」の3つのテーマに沿って実施。欠食しないことの重要性や、栄養バランスの取り方、誰かに料理を作ってもてなすことなど、さまざまな角度から自炊の魅力を伝える取組となり、自炊をする人が増えるなどの成果があった。 第1回：テーマ「1日3回ちゃんと食べてる」平成25年 5月11日 24名 第2回：テーマ「脱・おかず一品」平成25年6月8日 21名 第3回：テーマ「おうちパーティー」平成25年6月29日 24名	
		

(1) 世代に応じた食育の推進


取組事項	取組の内容	担当	
「京都米の良さ発見！」提案の募集	京都府米食推進協会が、管理栄養士、栄養士をめざしている京都の大学、短大、専門学校で学ぶ学生を対象に京都米全般に関する事業提案及び米をはじめとする地域の特産物の特徴や食文化に関する調査研究を通じて、学生に京都米の良さを再発見してもらうとともに、その提案を活用して府民に対して京都米や地域の特産物の知識を広げる活動を行います。	農産課	
	取組の実績	評価	A
	京都米食文化講座（参加者 計249名） <ul style="list-style-type: none"> ・25/ 6/15 田植え体験 61名 ・ 9/11 京都米&京野菜を使った料理体験 45名 ・ 10/19 稲刈・ナス収穫体験、エビイモ栽培見学 41名 ・ 12/10 京都米&京野菜を使った料理体験 45名 ・26/ 2/ 1 みそ・塩こうじ等作り方教室 57名 京都米の良さ発見等提案事業審査会（25/11/23開催） <ul style="list-style-type: none"> ・3大学1専門学校からの「京都米を使った『白ごはん』を美味しくいただく献立や食生活」15提案を審査し、特選等の各賞を選定 		

④ 親子農林漁業体験の推進

取組事項	取組の内容	担当	
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○石窯DEピザランチ（玉ねぎの収穫、ピザの調理） 平成25年6月9日【京都生活協同組合、いこいの村聴覚言語障害センター（綾部）】 ○むらさきいろのおいもを掘ってみよう！食べてみよう！ 平成25年10月27日【京都生活協同組合】 ○コープのワクワク農業体験バスツアー 平成25年11月9日【京都生活協同組合】 ○京の味ごちそう展 平成26年2月22日【高島屋京都店】		

取組事項	取組の内容	担当	
特用林産物の栽培体験等	きのこ栽培の体験を通じ、森林の恵みである特用林産物を食することへの関心を高める。 目標値：きのこ栽培等体験教室 2回	林務課	
	取組の実績	評価	A
	きのこ栽培等体験教室を8回開催し、272名が参加		

⑤ 食に関する体験・学習ができる施設等の情報提供

取組事項	取組の内容	担当
該当施設に関する情報の収集・提供 再掲(1)ア②	該当施設についての情報をホームページを通じて情報提供します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○京都府ホームページ内に開設している「食と農の体験施設」ページにおいて、地域別（京都市・山城・南丹・中丹・丹後）、内容別（食べる・作る・学ぶ・育てる）で情報提供を実施。 http://www.pref.kyoto.jp/syokuiku-spot/index.html 	A

⑥ 生産現場での意見交換等の生産者と消費者との交流の促進

取組事項	取組の内容	担当
意見交換・シンポジウムの開催	食の安全に関する施策や取組について、消費者及び生産者等と各広域振興局ごとに意見交換を行うとともに、消費者及び生産事業者等と協働して食の安心・安全シンポジウムを開催し、食品の安全性に関する知識を啓発します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○食の安心・安全意見交換会を各広域振興局内及び京都市内で計5回開催。 （それぞれ10～50名程度の参加者） ○きょうと食の安心・安全フォーラム開催（1回） 開催日：平成26年1月30日（木）	A

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○京都米食文化講座（京都米田植え体験とJA、農家との交流会） 平成25年6月17日【（一社）京都府米食推進協会】 ○京都米食文化講座（京都米稲刈り、ささがけ体験、千両なすの収穫、エビイモの観察会）平成25年10月16日【（一社）京都府米食推進協会】 ○お魚料理教室（京都府の漁業の説明・魚のさばき方指導） 平成25年10月18日【京都府漁業協同組合 舞鶴市城南会館】 ○お魚料理教室（京都府の漁業の説明・魚のさばき方指導） 平成25年10月20日【京都府漁業協同組合 丹後あじわいの郷協力会等】 ○むらさきいろのおいもを掘ってみよう！食べてみよう！（むらさきいもの栽培・収穫・調理）平成25年10月27日【京都生活協同組合】 ○コープのワクワク農業体験バスツアー 平成25年11月9日【京都生活協同組合】 ○お魚料理教室（京都府の漁業の説明・魚のさばき方指導） 平成25年12月9日【京都府漁業協同組合 られんど明倫】 ○市場見学（京都府漁協舞鶴市場） 周年【京都府漁業協同組合】	A

⑦ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育強化月間における関係団体と連携した啓発	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間（11月）」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	A	
	○京都府農林水産フェスティバル2013（平成25年11月30日、12月1日）にて、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育コーナーを設置。	

取組事項	取組の内容	担当
スーパーマーケット等での食育啓発活動	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパーマーケット等で実施します。 目標：年2回実施	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	A	
	○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置（年2回開催） 実施日：平成25年9月14日、平成26年2月15日 内容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協力：（公社）京都府栄養士会	

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	A	
	○京都米食文化講座（京都米田植え体験とJA、農家との交流会） 平成25年6月17日【（一社）京都府米食推進協会】 ○本物のだしを味わうことは教養である事業 平成25年10月7日、10月8日【NPO法人日本料理アカデミー、京都大学】 ○京都米食文化講座（京都米稲刈り、ささがけ体験、千両なすの収穫、エビイモの観察会）平成25年10月16日【（一社）京都府米食推進協会】 ○ひらめき☆ときめきサイエンス（おせち料理にチャレンジ） 平成25年12月21日【京都府立大学大学院生命環境科学研究科食事科学研究室】 ○いきいき健康フェア（だいきんを丸ごと使ったエコクッキング） 平成26年1月19日【（公社）京都府栄養士会】	

⑧ 職場での料理教室の推進

⑨ 健康診査結果を活用した生活習慣病予防の取組の推進

取組事項	取組の内容	担当
地域・職域連携推進会議	保健所における地域・職域連携推進会議を通じて、事業所等が行う各種保健指導等に役立つ食生活改善の情報提供を行います。 <地域・職域連携推進会議> 地域保健と職域保健の間の健康情報の共有や保健事業の実施に要する社会資源の相互活用などを通じて、地域・職域の連携体制を構築し、生涯を通じた継続的な健康支援を図るための会議	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
	○各保健所において、地域・職域連携推進会議を開催し、食生活改善に関する情報提供を行った。	
		A

ウ 中年の食育支援

① 健康診査結果を活用した生活習慣病予防の取組の推進

取組事項	取組の内容	担当
地域・職域連携推進会議 再掲(1)イ⑨	保健所における地域・職域連携推進会議を通じて、事業所等が行う各種保健指導等に役立つ食生活改善の情報提供を行います。 <地域・職域連携推進会議> 地域保健と職域保健の間の健康情報の共有や保健事業の実施に要する社会資源の相互活用などを通じて、地域・職域の連携体制を構築し、生涯を通じた継続的な健康支援を図るための会議	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
	○各保健所において、地域・職域連携推進会議を開催し、食生活改善に関する情報提供を行った。	
		A

取組事項	取組の内容	担当
働きざかり世代への食を通じた健康づくり	多忙なため生活習慣の多くに課題を抱える働きざかり世代が健診受診や保健行動に結びつけられるよう、管内事業者へ向けた食育事業を実施します。 目標：年3回以上	南丹保健所
	取組の実績	評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・亀岡市商工会健診開催時に、健康教育・展示を実施。今年度は「野菜摂取量の把握・食事バランスガイドの知名度把握」を目的にアンケートを実施しました。結果、野菜摂取量は現状1～2皿と回答した者がもっとも多く、働き盛り世代の野菜摂取量は目標値の5皿には遠く及ばない現状が伺えました。 ・社員食堂を持つ事業所5カ所に巡回し、社員へ対する健康づくりの取組など現状把握を行いました。また食堂に掲示する食・健康情報のカードなどを配布し、社員への情報提供を行いました。 	
		A

② 企業食堂と連携した郷土料理・行事食提供の推進

取組事項	取組の内容	担当
健康ばんざい京のおばんざい弁当シリーズの取組	「健康ばんざい京のおばんざい弁当シリーズ」の取組を弁当製造業者等に働きかけ、京のおばんざい弁当の普及を図ります。 また、京のおばんざい弁当普及推進協議会が、ホームページや各種イベント等の様々な機会を通じて、積極的に広報・普及を行います。	健康対策課
	取組の実績	評価
	○認定数：14種類（累計 245種類） 販売数：約6,600食（累計 1,004,367食） ○100万食突破を記念してイベントを行った。（10月26日、1月30日）	

取組事項	取組の内容	担当
「たんとおあがり京都府産」施設（京都府産農産物利用推進施設）の認定	地元農産物の利用に意欲的な病院・福祉施設、社員食堂、大学食堂を対象に認定章の交付を行い、意欲の向上を図ります。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○平成26年3月末現在認定施設数 137施設（平成25年度9施設を新規認定） ・認定章交付式において、京野菜について情報提供。 ・認定施設の広報（京都府ホームページへの掲載、イベント等でパネル展示）	

③ 職場での料理教室の推進

④ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育強化月間における関係団体と連携した啓発 再掲(1)イ⑦	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間（11月）」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○京都府農林水産フェスティバル2013（平成25年11月30日、12月1日）にて、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育コーナーを設置。	

取組事項	取組の内容	担当
スーパーマーケット等での食育啓発活動 再掲(1)イ⑦	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパーマーケット等で実施します。 目標：年2回実施	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置（年2回開催） 実施日：平成25年9月14日、平成26年2月15日 内容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協力：（公社）京都府栄養士会	

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<p>○石窯DEピザランチ（玉ねぎの収穫、ピザの調理） 平成25年6月9日【京都生活協同組合、いこいの村聴覚言語障害センター（綾部）】</p> <p>○おやこ手作りパン教室 平成25年9月7日【京都生活協同組合】</p> <p>○京都米食文化講座（京都米・京野菜の魅力と価値～野菜たっぷり、チョット料理に米粉を使って～ 平成25年9月17日【(一社)京都府米食推進協会】</p> <p>○つくって味わおう おやこで手づくりマヨネーズ 平成25年9月28日【京都生活協同組合】</p> <p>○ひらめき☆ときめきサイエンス（おせち料理にチャレンジ） 平成25年12月21日【京都府立大学大学院生命環境科学研究科食事科学研究室】</p> <p>○いきいき健康フェア（だいこんを丸ごと使ったエコクッキング） 平成26年1月19日【(公社)京都府栄養士会】</p> <p>○京の味ごちそう展 平成26年2月22日【NPO法人日本料理アカデミー、高島屋京都店】</p>	A

エ 高齢者の支援

① 社会福祉団体、商店街、流通事業者等と連携した調理実習体験や買い物弱者支援

取組事項	取組の内容	担当
高齢者等への買い物支援	商店街団体等が実施する、高齢者等の買い物弱者の買い物の利便を高め、生活の質の向上を図るとともに商店街の振興につながる事業を支援します。	商業・経営支援課
	取組の実績	評価
	<p>○H25年度は1団体が高齢者等の買い物弱者を対象とした食材の宅配事業を実施。</p> <p>○商店街団体等が地域の声を聞き、ニーズを把握するための協議組織の設置・運営については1団体が実施。</p>	A

② 高齢者の生活を充実させるための活動支援

取組事項	取組の内容	担当
SKYふれあいフェスティバルにおける高齢者の栄養改善に係る普及啓発	高齢者の健康づくり・介護予防について、広く一般府民に理解を深めてもらうため、(公社)京都府栄養士会に委託して栄養改善の普及啓発を実施する。	高齢者支援課
	取組の実績	評価
	<p>○SKYふれあいフェスティバルにおいて、栄養改善に係る普及啓発を実施。（実施日：9月14・15日、参加者数：483名）</p>	A

(1) 世代に応じた食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
地域・職域連携推進会議 再掲(1)イ⑨	保健所における地域・職域連携推進会議を通じて、事業所等が行う各種保健指導等に役立つ食生活改善の情報提供を行います。 〈地域・職域連携推進会議〉 地域保健と職域保健の間の健康情報の共有や保健事業の実施に要する社会資源の相互活用などを通じて、地域・職域の連携体制を構築し、生涯を通じた継続的な健康支援を図るための会議	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
		A
	○各保健所において、地域・職域連携推進会議を開催し、食生活改善に関する情報提供を行った。	

③ 技能や技術を活用した農業や料理の体験の場等における活動支援

取組事項	取組の内容	担当
農山漁村伝承技能の登録・認定	農山漁村地域において長年にわたり培われ、行われてきた伝統的又は優れた生産・生活に係る技能を保持し、農林水産業や地域振興に意欲を持って技能の伝承活動ができる65歳以上の府内在住者を登録している。その中で、極めて優れた技能の保持者については、京都府の「農の匠」、「山の匠」、「海の匠」として認定し、京都府ホームページで、お名前と技能について紹介します。	研究普及ブランド課
	取組の実績	評価
		A
	農山漁村伝承技能登録 H25年度 45名 農山漁村伝承優秀技能認定 H25年度 5名(農の匠 4名、海の匠 1名)	

④ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育強化月間における関係団体と連携した啓発 再掲(1)イ⑦	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間(11月)」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
		A
	○京都府農林水産フェスティバル2013(平成25年11月30日、12月1日)にて、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育コーナーを設置。	

取組事項	取組の内容	担当
スーパーマーケット等での食育啓発活動 再掲(1)イ⑦	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパーマーケット等で実施します。 目標：年2回実施	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<p>○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置（年2回開催） 実施日：平成25年9月14日、平成26年2月15日 内 容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協 力：（公社）京都府栄養士会</p>	

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<p>○南おいしく「かむかむ」教室 平成25年6月4日、6月18日、7月5日、7月19日 9月4日、9月18日、11月14日、11月28日、 平成26年2月14日、2月28日【（公社）京都府歯科衛生士会】 ○料理で能力アップ～タブレット端末を利用して～（アンチエイジング等をテーマにした調理実習と講義） 平成25年9月21日、10月26日、11月2日、11月16日 12月14日、平成26年1月11日【京都府立大学大学院生命環境科学研究科食事科学研究室】</p>	

(2) 家庭における食育の推進

家庭は、食育を推進する上で最も大切な場であり、食育の原点です。

食の外部化が進んでいる現代にあっても、人が初めて食に触れる場である家庭では、基本的な生活習慣を身に付けたり、望ましい食習慣や知識を習得したり、食文化を伝承したりする上で非常に大きな役割があり、また食を介したコミュニケーションを通じて親子の絆を深めることができます。

しかし、朝食欠食が大きな問題となっているほか、食生活も原因の一つと考えられる生活習慣病の増加や食品ロスの発生などの課題があります。

① 「朝ごはんを毎日食べる」運動等の展開

取組事項	取組の内容	担当
各種イベントでの啓発	朝食を食べない幼児ゼロを目指し、食生活改善推進等と連携し、各種イベント等において食育キャンペーンを実施します。	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
	○各保健所において、地域や企業で開催される健康フェア等の場やスーパーマーケット等と連携し食育に関するブースを設置し、食・健康づくりに関するパネル展示やリーフレットを配布するなどの食育キャンペーンを25回実施、約5,000人が参加。	

取組事項	取組の内容	担当
食育強化月間における関係団体と連携した啓発 再掲(1)イ⑦	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間(11月)」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○京都府農林水産フェスティバル2013(平成25年11月30日、12月1日)にて、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育コーナーを設置。	

取組事項	取組の内容	担当
スーパーマーケット等での食育啓発活動 再掲(1)イ⑦	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパーマーケット等で実施します。 目標：年2回実施	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置(年2回開催) 実施日：平成25年9月14日、平成26年2月15日 内容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協力：(公社)京都府栄養士会	

取組事項	取組の内容	担当
就学前の子どもを持つ保護者への支援	「早寝・早起き・朝ごはん」等規則正しい生活習慣や学習習慣がしっかり身につくよう、就学前の子どもを持つ保護者を対象に「親のための応援塾」を開設し、家庭の教育力の向上を目指します。	社会教育課
	取組の実績	評価
	○府内の小学校で開催した「親のための応援塾」で、食育に関する講座を175回実施 <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な朝食作り・お菓子作り・栄養教諭による食育の話など ・講座以外にも、給食試食会やグループの交流で食育についての交流が行われた。 	A

取組事項	取組の内容	担当
「みんなでコラボin中丹」のはぐくみ教室（「基本的な生活習慣」「親のための応援塾」）の開催	中丹管内のPTA役員や各学校のPTA担当者等を対象に、福祉関係部局との連携を深め、社会総がかりで子どもたちを豊かにはぐくむ環境づくりについて、地域も親も教師もともに学び、広め合う機会として、「みんなでコラボin中丹」を開催します。 「基本的な生活習慣」「親のための応援塾」をテーマとするはぐくみ教室で、早寝早おき朝ごはんと食育講座について推奨し、家庭における食育の推進につなげます。 ○6月22日（土）綾部市 目標値：25年度 計1回	中丹教育局
	取組の実績	評価
	1 日時：平成25年6月22日（土）午後1時10分～午後4時 2 場所：京都府立綾部高等学校東分校、京都府総合教育センター北部研修所 3 参加人数：330名 ※「はぐくみ教室」の中の1教室で、管内小学校PTA会員が、朝食の大切さを学び合うために自校で実施された親のための応援塾の取組内容（小学校栄養教諭による食育の話、簡単レシピによる調理実習）を紹介した後、グループ協議を行った。 【成果】 ・PTA会員によるPTAの取組紹介であったため、「参考になった」「自校でも実践したい」という感想がみられ、今後の取組の広がりにつながるものとなった。 ・取組紹介を基にグループ協議を行い、各校の食育に関する取組を交流したり、自校への活かし方を考えることができた。	A

② 「食」の大切さや望ましい食習慣等についての啓発

取組事項	取組の内容	担当
出前講座への対応 再掲(1)ア⑨	望ましい食習慣について啓発を図るため、保健所などからの出前講座を実施します。	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
	○食に関する出前講座を16回実施、1,086名が参加。 （テーマ例）生活習慣病予防のための昼食とおやつのととり方、食べ方生活習慣病予防と野菜でもっと元気に	A

(2) 家庭における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当	
各種イベントでの啓発	各種関係団体と連携し、各種イベントにおいて、府民へ正しい食習慣についての普及・啓発を行います。	各保健所 健康対策課	
	取組の実績	評価	A
	<p>○各保健所において、地域や企業で開催される健康フェア等の場やスーパーマーケット等と連携し食育に関するブースなどを設置し、食・健康づくりに関するパネル展示やリーフレットを配布するなどの食育キャンペーンを25回実施、約5,000人が参加。</p> <p>○健康長寿推進講演会、料理教室を開催、212名が参加。</p>		

取組事項	取組の内容	担当	
食のスクラップコンクール実施	「食」に関する新聞記事や資料のスクラップ制作を通じ、「食」への関心と理解を深めることを目的として、小中学生を対象にコンクールを開催します。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	<p>○募集期間：平成25年7月1日～9月13日</p> <p>内容：新聞並びにJA及び行政機関発行物の「食」に関する記事や資料を10点以上スクラップし、1記事につき200字以内の感想文又は感想画を記載。</p> <p>応募対象：京都市内に居住又は通学している小・中学生</p> <p>応募数：585点</p> <p>表彰式・作品展示：優秀賞8点、優良賞5点、佳作10点を選定し、「きょうと×きょうど料理サミット」において表彰及び入賞作品の展示を実施。</p>		

取組事項	取組の内容	担当
各種イベントでの啓発	「きょうと食育ネットワーク」と連携しながら、食に関わるイベント等に効果的な出展を行い、府民が食育を考え、体験出来る機会とします。	食の安心・安全推進課
	<p>○食育取組事例等の展示・配布</p> <p>○体験型ブース出展（食生活の見直しや、食に関わるマナー等の体験機会とします。）</p> <p>○アンケート実施（府民の食育に対する意識を把握します。）</p>	
	取組の実績	
<p>○各種イベントに出展し、パネル展示、食生活チェックコーナー設置、資料配付、アンケート等を実施。</p> <p><出展イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農林センター施設公開（平成25年7月25日） ・SKYふれあいフェスティバル（平成25年9月14日、15日） ・京都市中央卸売市場鍋まつり（平成25年11月23日） ・京都府農林水産フェスティバル（平成25年11月30日、12月1日） 		

取組事項	取組の内容	担当
スーパーマーケット等での食育啓発活動 再掲(1)イ⑦	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパーマーケット等で実施します。 目標：年2回実施	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置（年2回開催） 実施日：平成25年9月14日、平成26年2月15日 内 容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協 力：（公社）京都府栄養士会	
		A

取組事項	取組の内容	担当
家庭における食育推進をねらいとした啓発	管内の2市1町で実施されるイベント等において、食について考え、2市1町に呼びかけて府民が体験できる機会を設け啓発に努めます。（3年計画の1年目） 目標値：1回開催	乙訓保健所 乙訓教育局 京都乙訓農業改良普及センター
	取組の実績	評価
	「大山崎町産業まつり」の会場で大山崎町栄養士会と合同で親子参加型の「食べものクイズ&アンケート」で①1日に必要な野菜の量、②大山崎町の代表的な農産物の特産品、③大山崎町の学校給食で年間一番多く使われている町内産の農産物、④野菜の旬、⑤毎食野菜摂取の啓発、⑥朝ご飯の摂取状況について実施した。実物やパネル展示を行った。「旬の野菜をたっぷりたべてますか?」という啓発チラシを配付した。 (平成25年11月3日、クイズ参加者107名)	

(2) 家庭における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当	
家庭における食育推進をねらいとした啓発	「朝ごはんを食べよう」「和食：おいしいだしをとろう」「地産地消と地元産旬の野菜の紹介」等について、各種イベントで食育の啓発を行います。	山城南保健所	
	取組の実績	評価	A
	<p>各種イベントにおける啓発を実施しました。</p> <p>○平成25年 9月6日 「救急フェア」 (イオンモール高の原)</p> <p>○平成25年 9月14日 「小児救急フォーラム」 (関西光科学研究所)</p> <p>○平成25年11月23日 「和東町ヘルスアップの日」 (和東町社会福祉会館)</p> <p>○平成25年11月30日 「子育てフェスタ」 (アスピアやましろ)</p> <p>《当日の取り組み》</p> <p>おだしをとることや朝ご飯を食べることの大切さ、地元産野菜の紹介、離乳食・アレルギー食の相談などを保護者やお子さんに対し、パネル展示や説明等で実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> アレルギー・離乳食相談 おだしや旬の野菜のパネル展示の様子 </p>		

取組事項	取組の内容	担当	
直売所店舗での「なんたん・かんたん・やさしい料理」レシピカード配布	京都丹波地域府民会議食環境部会で公募・編集したレシピ集から、地産地消と旬の野菜による健康づくりを目的としてレシピカードを作成し、管内農作物直売所にて店頭配布を行います。 目標：年4回・㊤27カ所→49カ所に呼びかける	南丹保健所	
	取組の実績	評価	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・6月から10月にかけて、農林商工部から提供いただいたリストに掲載されている常設直売所全数へレシピ配布意向を確認しました。結果、10施設に新たに配布協力をいただきました。 ・その他、一般飲食店等からなる「食情報提供店」へもレシピ配布協力依頼を行い、14店舗で新たにレシピ配布を開始しました。 ・今年度新たにレシピ募集を行い、次年度からは新メニューの配布を予定しています。 		

取組事項	取組の内容	担当	
「みんなでコラボ in 中丹」のはぐくみ教室（「基本的な生活習慣」「親のための応援塾」）の開催 再掲(2)①	中丹管内のPTA役員や各学校のPTA担当者等を対象に、福祉関係部局との連携を深め、社会総がかりで子どもたちを豊かにはぐくむ環境づくりについて、地域も親も教師もともに学び、広め合う機会として、「みんなでコラボ in 中丹」を開催します。 「基本的な生活習慣」「親のための応援塾」をテーマとするはぐくみ教室で、早寝早起き朝ごはんと食育講座について推奨し、家庭における食育の推進につなげます。 〇6月22日（土）綾部市 目標値：25年度 計1回	中丹教育局	
	取組の実績	評価	A
	1 日時：平成25年6月22日（土）午後1時10分～午後4時 2 場所：京都府立綾部高等学校東分校、京都府総合教育センター北部研修所 3 参加人数：330名 ※「はぐくみ教室」の中の1教室で、管内小学校PTA会員が、朝食の大切さを学び合うために自校で実施された親のための応援塾の取組内容（小学校栄養教諭による食育の話、簡単レシピによる調理実習）を紹介した後、グループ協議を行った。 【成果】 ・PTA会員によるPTAの取組紹介であったため、「参考になった」「自校でも実践したい」という感想がみられ、今後の取組の広がりにつながるものとなった。 ・取組紹介を基にグループ協議を行い、各校の食育に関する取組を交流したり、自校への活かし方を考えることができた。		

取組事項	取組の内容	担当
食育フェスタの開催 （子育てフェスタ in 丹後共同開催）	・食育講演会は地域関係者や食生活改善推進員、府民会議参画団体や市町等行政、府民等の広範な参加者を得て平成16年度から継続開催しています。 ・平成25年度は、各関係機関と情報交流をして企画を行い、様々な団体や関係機関の参加をめざし丹後の食育課題を共有します。また、体験コーナーや参加団体の展示等体験を通して学ぶ機会を提供します。	丹後保健所
取組の実績	評価	A
子育てフェスタ in 丹後に併せて開催し、子育て世代の親子等地域の方々約300名の参加があり、体験等を通して楽しく食を学ぶ取組ができた。		

(2) 家庭における食育の推進

③ 栄養指導・相談対応の充実

取組事項	取組の内容	担当
保育所等への支援	保健所が行う巡回指導等を通じて、保育所に対し、栄養指導上の課題解決に向けた相談に応じます。	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
	○保育所等の特定給食施設へ訪問指導を、90施設実施。 ○各保健所において、保育所等での食育に関する課題を抽出し、解説するための講習会や研修会を実施。	

取組事項	取組の内容	担当
スーパーマーケット等での食育啓発活動 再掲(1)イ⑦	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパーマーケット等で実施します。 目標：年2回実施	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置(年2回開催) 実施日：平成25年9月14日、平成26年2月15日 内容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協力：(公社)京都府栄養士会	

④ 親子料理教室等、「食」を楽しみながら学ぶ機会の提供

取組事項	取組の内容	担当
食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援 再掲(1)ア③	食生活を通じた健康づくりのボランティア団体である食生活改善推進員が、各地域でおやこ食育教室等に取り組むにあたり、取組の支援や技術向上のためのリーダー研修会を実施します。	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
	○各保健所において、食生活改善推進員リーダーを対象とした研修会を11回開催、延べ413名が参加。 ○各地域において食生活改善推進員が小学生を対象とした「おやこ食育教室」等食育に関する事業を実施。	

取組事項	取組の内容	担当
府関連施設を活用した農林漁業体験	パンやケーキづくりを通じて、「食」を楽しみながら学ぶ機会を提供します。 目標値：参加者 7,000名	農村振興課 (丹後あじわいの郷)
	取組の実績	評価
	○成形パン、アイスクリーム、焼きドーナツ、ソーセージ、丹後ばらずし、美味しいニギスの食べ方、京たんご梨でふわふわゼリー、豆乳マフィン、漬物等「食」に係る手作り体験教室の開催(参加者数6,670人)	

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<ul style="list-style-type: none"> ○石窯DEピザランチ（玉ねぎの収穫、ピザの調理） 平成25年6月9日【京都生活協同組合、いこいの村聴覚言語障害センター（綾部）】 ○おやこ手作りパン教室 平成25年9月7日【京都生活協同組合】 ○つくって味わおう おやこで手づくりマヨネーズ 平成25年9月28日【京都生活協同組合】 ○ひらめき☆ときめきサイエンス（おせち料理にチャレンジ） 平成25年12月21日【京都府立大学大学院生命環境科学研究科食事科学研究室】 ○いきいき健康フェア（だいこんを丸ごと使ったエコクッキング） 平成26年1月19日【(公社)京都府栄養士会】 ○京の味ごちそう展 平成26年2月22日【NPO法人日本料理アカデミー、高島屋京都店】 	A

⑤ 初めて父親、母親になる夫婦の子育てを意識した食育における保健・医療機関、NPO等の連携による取組

⑥ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育強化月間における関係団体と連携した啓発 再掲(1)イ⑦	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間（11月）」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○京都府農林水産フェスティバル2013（平成25年11月30日、12月1日）にて、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育コーナーを設置。	A

(2) 家庭における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<p>○石窯DEピザランチ（玉ねぎの収穫、ピザの調理） 平成25年6月9日【京都生活協同組合、いこいの村聴覚言語障害センター（綾部）】</p> <p>○おやこ手作りパン教室 平成25年9月7日【京都生活協同組合】</p> <p>○つくって味わおう おやこで手づくりマヨネーズ 平成25年9月28日【京都生活協同組合】</p> <p>○本物のだしを味わうことは教養である事業 平成25年10月7日、10月8日【NPO 法人日本料理アカデミー、京都大学】</p> <p>○ひらめき☆ときめきサイエンス（おせち料理にチャレンジ） 平成25年12月21日【京都府立大学大学院生命環境科学研究科食事科学研究室】</p> <p>○いきいき健康フェア（だいこんを丸ごと使ったエコクッキング） 平成26年1月19日【(公社) 京都府栄養士会】</p> <p>○京の味ごちそう展 平成26年2月22日【NPO 法人日本料理アカデミー、高島屋京都店】</p>	A

取組事項	取組の内容	担当
スーパーマーケット等での食育啓発活動 再掲(1)イ⑦	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパーマーケット等で実施します。 目標：年2回実施	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	<p>○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置（年2回開催） 実施日：平成25年9月14日、平成26年2月15日 内 容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協 力：(公社) 京都府栄養士会</p>	A

(3) 地域における食育の推進

住民に身近な市町村・地域での食育の推進のためには、様々な団体や関係者が協働して取り組む必要がありますが、関係者の連携のための市町村食育推進計画の策定が進んでいません。

また、伝統行事や郷土料理、行事食をはじめとする食文化を次の世代に伝承したり、食農体験農場等体験の場づくりなどについても、地域には食育において重要な役割があります。

① 五感を活性化する食農体験の場づくりの推進


取組事項	取組の内容	担当	
府施設を活用した様々な食育・環境体験教室の開催 再掲(1)ア①	府立丹後海と星の見える丘公園において、指定管理者主催により、生ゴミを堆肥化して土づくりから農作物の栽培・収穫体験・火おこしからおくどさん(かまど)を使った調理体験、石窯を使ったパン焼き体験などさまざまな食育・環境体験教室を開催し、宿泊者等には地元産食材を使った食育を大切に料理を提供します。	自然環境保全課	
	取組の実績	評価	A
	地元産食材を利用した調理教室や石窯ピザ焼き教室(35回開催、参加者724人)、農作物播種・収穫(米、人参等)体験(17回開催、参加者166人)、ゼロエミ(生ゴミの堆肥化)教室(9回開催、参加者254人)など、学校や団体客等の希望に応じて食をテーマにした体験プログラム等、合わせて60回以上の食育・環境体験教室を実施。		

取組事項	取組の内容	担当	
食農体験農場の開設推進 再掲(1)ア①	子どもたちが五感を使って、種まき・苗植え、草引き、施肥、収穫、調理など一連の農作業等を1年を通じて体験できる農場の開設を支援します。 目標：農場開設数 15箇所	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	B
	今年度、3農場へ登録制度を説明。次年度登録へ向けて、推進を図った。新たに「学ぶ」「食べる」「買う」きとができる直売所や食農体験農場等を「京野菜ランド」として登録。食や農について学べる施設として、37施設を登録。		

取組事項	取組の内容	担当	
道の駅・直売所等を会場とした、食育キャンペーンの開催	道の駅や直売所を利用する府民を対象に、地域の食育活動を紹介したり体験コーナーを設置するなど、参加型の食育イベントを開催します。 目標：年1回以上 参加者のべ250名以上	南丹保健所	
	取組の実績	評価	A
	9月21日(土)にスプリングスひよし・彩花菜園にてキャンペーンを開催。健康長寿日本一フォーラムと同時開催し、各コーナー参加者延べ500名を数えました。食育体験コーナーの他、地域の食育活動紹介のコーナー、テーブルマジックショーなど多彩なプログラムで開催しました。		

(3) 地域における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
シイタケの原木栽培体験の実施	小学生に対し、地域の山から切り出した原木を用いたシイタケ栽培の体験実習を実施します。自ら栽培したシイタケを食する体験を通して、食と健康、地域の自然・森林環境や広く生活環境についての認識を深めます。	南丹広域振興局（農林商工部）
	取組の実績	評価
	<p>・船井林業友の会活動</p> <p>① 11月18日 小学生の林業体験（椎茸原木伐採）八木小学校 11名</p> <p>② 11月29日 小学生の林業体験（椎茸原木伐採）富本・新庄神吉小学校 18名</p> <p>③ 2月10日 椎茸菌打ち体験 富本・新庄・神吉小学校 22名</p> <p>④ 2月10日 // 吉富小学校 12名</p> <p>⑤ 2月13日 // 竹野小学校 6名</p>	A

取組事項	取組の内容	担当
農作業応援体験ツアーの開催（おいしい食の応援隊）	<p>農作業応援体験ツアーを通じて、継続して農作業を手伝い、農家と顔の見えるお付き合いで相互応援の絆をつくる、消費者応援隊の参加者拡大を図り、地産地消のすそ野を広げます。</p>  <p>(さやから黒豆を取り出す)</p>	南丹広域振興局（農林商工部）
	取組の実績	評価
	消費者応援隊活動体験会を4回開催、80名が参加。継続した農作業応援活動への参加を呼びかけました。	A

取組事項	取組の内容	担当
直売所等を巡るクイズラリーの実施	夏休みの親子を対象に、クイズラリーを実施します。消費者が実施期間内にクイズを楽しみながら参加施設を巡ることで、地元産農林畜産物への理解を深めていただくとともに、直売所の新規顧客の増加を図ります。	南丹広域振興局（農林商工部）
	取組の実績	評価
	<p>8/1～31、10/19～11/19に道の駅や直売所、レストラン等を巡り施設独自のクイズに答えて応募するクイズラリーを実施し、前年度の約2.5倍となる360人からの応募を得ました。</p> <p>実施後は協力施設や管内市町との検討会を行い、広報の強化など次年度の取組内容の改善に努めました。</p>	A

② 食育を推進する人材の育成

取組事項	取組の内容	担当
管内栄養士ネットワーク推進事業	保健所は、地域での食育を推進するため、施設や地域で活動する栄養士に対し研修会や情報共有の場を提供することにより、栄養士間のネットワークづくりを行います。	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
	○各保健所において、管内栄養士ネットワーク推進事業（研修会やネットワーク会議）を30回開催、延べ528名が参加。	

取組事項	取組の内容	担当
食生活改善推進員活動の支援（リーダー研修会の実施） 再掲（1）ア ⑤	保健所は、食生活改善推進員のリーダー層に研修会を行い、食育に関する最新知識や事例共有などの機会を提供し、効果的な活動が展開されるよう支援します。	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
	○各保健所において、食生活改善リーダーを対象とした研修会を11回開催、延べ413名が参加。	

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等従事者講習会 再掲（1）ア ⑥	特定給食施設等従事者講習会の場を活用し、情報提供や施設間の交流の場を提供することで、連携した食育を推進します。	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
	○特定給食施設等の給食従事者、食育担当等を対象に実施した講習会・研修会の中で、施設間同士の情報交換や交流の場を設定。17回開催、810名が参加。	

取組事項	取組の内容	担当
きょうと食いく先生養成講座の開講と認定 再掲（1）ア ①	学校等において、専門的な知識を有し農作業や調理を指導できる人材を育成するため、養成講座を開講し、きょうと食いく先生の認定を行います。 目標：養成講座開催 1回 きょうと食いく先生の認定 50名	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	農林水産業、食品加工、料理部門の専門家を新たに72名認定した。今後、引き続き、「きょうと食いく先生」の認定をすすめていく。また、「子どもにわかりやすい食育」をテーマに養成講座を2回開催した	


③ 学校や福祉施設などの給食での地産地消の推進

取組事項	取組の内容	担当
特定給食施設等巡回指導・従事者講習会などによる地域の特色を活かした給食の提供を支援 再掲(1)ア④	給食を実施している施設で、地域の特色や工夫を活かした給食の提供ができるよう、保健所による給食施設巡回指導時の個別相談により支援します。 <特定給食施設> 健康増進法第20条では、特定かつ多数の者に対して継続的に1回100食以上または1日250食以上の食事を提供する施設。 ただし、府ではそれ以下の食数の施設に対しても指導対象施設としている。	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
	○特定給食施設等巡回指導時に、栄養指導員が個別相談に対応。 ○特定給食施設等の給食従事者、食育担当者等を対象とした講習会・研修会を17回開催、810名が参加。	
		A

取組事項	取組の内容	担当
生産者と学校を結ぶコーディネーターの育成 再掲(1)ア④	学校・保育園給食への地元農林水産物の供給を拡大するため、地元の農林水産物の旬・生産状況と学校給食のニーズを把握し、生産者と学校の調整活動を行うコーディネーターを育成します。 目標：育成研修会開催 1回	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○学校給食コーディネーター育成研修会1回開催。 栄養教諭を対象に京都府の水産業について、市場及び加工工場見学し、地元漁業関係者との意見交換を行うことで、京都府産の魚への理解が深まり、学校給食への活用につながった。	
		A

取組事項	取組の内容	担当
「たんとおあがり京都府産」施設（京都府産農産物利用推進施設）の認定 再掲(1)ウ②	地元農産物の利用に意欲的な病院・福祉施設、社員食堂、大学食堂を対象に認定章の交付を行い、意欲の向上を図ります。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○平成26年3月末現在認定施設数 137施設（平成25年度9施設を新規認定） ・認定章交付式において、京野菜について情報提供。 ・認定施設の広報（京都府ホームページへの掲載、イベント等でパネル展示）	
		A

取組事項	取組の内容	担当
地場産物を取り入れた学校給食の促進 再掲(1)ア④	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食など取り入れることによって、子どもたちに地元産物や食文化への理解を深め、郷土への関心を高めます。	保健体育課
	取組の実績	評価
		A
	○「栄養教諭を中核とした食育推進事業」、「食に関する指導充実事業」等の取組により、地場産物の活用など地域の特色を生かした学校給食等について実践的研究に取り組み、研修会や公開授業、発表会等で他の学校に成果を普及した。	

取組事項	取組の内容	担当
食堂で「地産地消の日」を設定(おいしい食の応援隊)	毎月第3木曜日、南丹広域振興局の食堂では、地域の食材を使用した昼食を提供し、職員に京都丹波の農畜産物をPR、地産地消の意識づくりをしています。  (小松菜のオムツ)	南丹広域振興局(農林商工部)
	取組の実績	評価
		A
	地域の食材を使用した地産地消定食を計11回、延べ270名の職員に提供。収穫したてのおいしい農産物を食べてもらい、地産地消の意識づけができました。	

④ 食生活改善推進員や生活研究グループ等が行う郷土料理・行事食の料理教室等の活動の推進


取組事項	取組の内容	担当
食生活改善推進員による親子料理教室等の取組支援 再掲(1)ア③	食生活を通じた健康づくりのボランティア団体である食生活改善推進員が、各地域でおやこ食育教室等に取り組むにあたり、取組の支援や技術向上のためのリーダー研修会を実施します。	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
		A
	○各保健所において、食生活改善推進員リーダーを対象とした研修会を11回、延べ413名が参加。 ○各地域において食生活改善推進員が小学生を対象とした「おやこ食育教室」等、食育に関する事業を実施。	

(3) 地域における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当			
食育講座の開催	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課			
再掲(1)ア③	<table border="1"> <tr> <td>取組の実績</td> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>○小学校での食育活動（旬の野菜を使った郷土料理の調理実習） 平成25年7月6日【長岡京市、乙訓地域生活研究グループ連絡協議会】 ○小学校での食育活動（旬の野菜を使った郷土料理の調理実習） 平成25年7月17日【長岡京市、乙訓地域生活研究グループ連絡協議会】 ○小学校での食育活動（旬の野菜を使った郷土料理の調理実習） 平成25年9月30日【長岡京市、乙訓地域生活研究グループ連絡協議会】 ○京都米食文化講座（お正月を迎え、「京都米&京野菜を使った料理」） 平成25年12月10日【（一社）京都府米食推進協会】 ○ひらめき☆ときめきサイエンス（おせち料理にチャレンジ） 平成25年12月21日【京都府立大学大学院生命環境科学研究科食事科学研究室】 ○京都米食文化講座（マイみそ、塩麴づくり教室） 平成26年2月1日【（一社）京都府米食推進協会】 ○小学校での食育活動（旬の野菜を使った郷土料理の調理実習） 平成26年2月25日、2月26日【長岡京市、乙訓地域生活研究グループ連絡協議会】 ○京の味ごちそう展 平成26年2月22日【NPO法人日本料理アカデミー、高島屋京都店】</p>	取組の実績	評価	A	
取組の実績	評価	A			

取組事項	取組の内容	担当						
食育に取り組む団体の食育支援活動の登録と情報提供	<p>「きょうと食育ネットワーク」を通じて、府内で行われている食育支援の活動を登録し、ホームページ等で情報提供することで、食育に取り組むにあたって必要な情報を容易に取得できるようにします。</p> <p>【食育支援の取組】</p> <table border="1"> <tr> <td>○ボランティア活動</td> <td>○企業・工房等の見学</td> </tr> <tr> <td>○講師の派遣</td> <td>○教材等の提供</td> </tr> <tr> <td>○農林漁業体験プログラム</td> <td>等</td> </tr> </table>	○ボランティア活動	○企業・工房等の見学	○講師の派遣	○教材等の提供	○農林漁業体験プログラム	等	食の安心・安全推進課
○ボランティア活動	○企業・工房等の見学							
○講師の派遣	○教材等の提供							
○農林漁業体験プログラム	等							
再掲(1)ア②	<table border="1"> <tr> <td>取組の実績</td> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>○「きょうと食育ネットワーク」において、会員団体及び「きょうとの食育」サポート企業における食育支援の活動を登録し、ネットワークのホームページに掲載することで情報提供を実施。</p>	取組の実績	評価	A				
取組の実績	評価	A						

取組事項	取組の内容	担当			
京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組	京都市と連携して運営する施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」において、京都府ならではの食材、行事等にまつわる食文化、健康を意識した体験型の食育教室等を開催します。	食の安心・安全推進課			
再掲(1)ア①	<table border="1"> <tr> <td>取組の実績</td> <td>評価</td> <td>A</td> </tr> </table> <p>○きょうと食いく先生などの講師を招き、京野菜などの京都府産食材や、おばんざいや和菓子などの食文化をテーマとしたきょうと食育体験教室を10回開催。（農産課、畜産課、林務課、健康対策課とのコラボイベントも実施）その他、研究・普及ブランド課や各広域振興局と連携したお茶の淹れ方教室などの体験教室を8回開催 ○大阪ガスと連携した親子向け食育体験教室の開催（10回） テーマ：宇治茶、京野菜、魚、京都米、おばんざい、豆腐、漬物</p>	取組の実績	評価	A	
取組の実績	評価	A			

取組事項	取組の内容	担当	
きょうと×きょうと料理サミットの開催 再掲(1)ア④	和食のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運を醸成し、地域に根ざした郷土料理などを次の世代に伝承し、育てていくため、「きょうと×きょうと料理サミット」を開催し、広く府民に郷土料理や地域の食文化の魅力を伝えます。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○きょうと×きょうと料理サミットを開催(平成26年1月18日(土)) 参加者:150名、会場:大阪ガスディリバ京都 パルホール 府内で郷土料理の伝承を行う食育推進リーダー等が各地域から集まり、地元の郷土料理の展示・PRを行った。30種類以上の郷土料理が集まり、試食を通じて、参加者と地域の郷土料理伝承者の交流が生まれ、参加者が郷土料理に触れる良い機会となった。 基調講演には森千鶴子氏をお招きし、「あるもの探しから始まる食育」というテーマでご講演いただいた。		
			

取組事項	取組の内容	担当	
女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	京都府内の生活研究グループが取り組む郷土料理講習や農業体験などの食育活動を支援します。 また、農山漁村伝承技能保持者が行う、農山漁村に伝わる技能伝承活動を支援します。	研究普及ブランド課	
	取組の実績	評価	A
	京都市や福知山市等、各地域の生活研究グループが地元の学校に食育活動を展開。また、きょうと×きょうと料理サミットへも府生活研究グループ連絡協議会として参加し、府民に各地の郷土料理を紹介。		

⑤ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進




取組事項	取組の内容	担当	
食育強化月間における関係団体と連携した啓発 再掲(1)イ⑦	「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間(11月)」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○京都府農林水産フェスティバル2013(平成25年11月30日、12月1日)にて、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育コーナーを設置。		

(3) 地域における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
食育講座の開催 再掲(1)ア③	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を支援します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	A ○石窯DEピザランチ（玉ねぎの収穫、ピザの調理） 平成25年6月9日【京都生活協同組合、いこいの村聴覚言語障害センター（綾部）】 ○京都米食文化講座（京都米田植え体験とJA、農家との交流会） 平成25年6月17日【（一社）京都府米食推進協会】 ○小学校での食育活動（旬の野菜を使った郷土料理の調理実習） 平成25年7月6日【長岡京市、乙訓地域生活研究グループ連絡協議会】 ○小学校での食育活動（旬の野菜を使った郷土料理の調理実習） 平成25年7月17日【長岡京市、乙訓地域生活研究グループ連絡協議会】 ○おやこ手作りパン教室 平成25年9月7日【京都生活協同組合】 ○つくって味わおう おやこで手づくりマヨネーズ 平成25年9月28日【京都生活協同組合】 ○小学校での食育活動（旬の野菜を使った郷土料理の調理実習） 平成25年9月30日【長岡京市、乙訓地域生活研究グループ連絡協議会】 ○京都米食文化講座（京都米稲刈り、ささがけ体験、千両なすの収穫、エビイモの観察会）平成25年10月16日【（一社）京都府米食推進協会】 ○お魚料理教室（京都府の漁業の説明・魚のさばき方指導） 平成25年10月18日【京都府漁業協同組合、舞鶴市城南会館】 ○お魚料理教室（京都府の漁業の説明・魚のさばき方指導） 平成25年10月20日【京都府漁業協同組合、丹後あじわいの郷協力会等】 ○むらさきいろのおいもを掘ってみよう！食べてみよう！ 平成25年10月27日【京都生活協同組合】 ○コープのワクワク農業体験バスツアー 平成25年11月9日【京都生活協同組合】 ○お魚料理教室（京都府の漁業の説明・魚のさばき方指導） 平成25年12月9日【京都府漁業協同組合、ふれんど明倫】 ○ひらめき☆ときめきサイエンス（おせち料理にチャレンジ） 平成25年12月21日【京都府立大学大学院生命環境科学研究科食事科学研究室】 ○いきいき健康フェア（だいこんを丸ごと使ったエコクッキング） 平成26年1月19日【（公社）京都府栄養士会】 ○京の味ごちそう展 平成26年2月22日【NPO法人日本料理アカデミー、高島屋京都店】 ○小学校での食育活動（旬の野菜を使った郷土料理の調理実習） 平成26年2月25日、2月26日【長岡京市、乙訓地域生活研究グループ連絡協議会】 ○漁業の取組をテーマにした市場見学 周年【京都府漁業協同組合】	

取組事項	取組の内容	担当
スーパーマーケット等での食育啓発活動 再掲(1)イ⑦	食生活相談コーナーの設置、パネル展示等による食育啓発活動をスーパーマーケット等で実施します。 目標：年2回実施	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価 A
	○府内のスーパーマーケット等にて、食育啓発コーナーを設置(年2回開催) 実施日：平成25年9月14日、平成26年2月15日 内容：食生活相談コーナー 食育クイズ・体験コーナー 展示・啓発コーナー 協力：(公社)京都府栄養士会	

取組事項	取組の内容	担当
京の食文化ミュージアム・あじわい館での食育体験教室の取組 再掲(1)ア①	京都市と連携して運営する施設「京の食文化ミュージアム・あじわい館」において、京都府ならではの食材、行事等にまつわる食文化、健康を意識した体験型の食育教室等を開催します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価 A
	○きょうと食いく先生などの講師を招き、京野菜などの京都府産食材や、おばんざいや和菓子などの食文化をテーマとしたきょうと食育体験教室を10回開催。 (農産課、畜産課、林務課、健康対策課とのコラボイベントも実施) その他、研究・普及ブランド課や各広域振興局と連携したお茶の淹れ方教室などの体験教室を8回開催 ○大阪ガスと連携した親子向け食育体験教室の開催(10回) テーマ：宇治茶、京野菜、魚、京都米、おばんざい、豆腐、漬物	

取組事項	取組の内容	担当	
きょうと×きょうと料理サミットの開催 再掲(1)ア④	和食のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運を醸成し、地域に根ざした郷土料理などを次の世代に伝承し、育んでいくため、「きょうと×きょうと料理サミット」を開催し、広く府民に郷土料理や地域の食文化の魅力を伝えます。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価 A	
	○きょうと×きょうと料理サミットを開催(平成26年1月18日(土)) 参加者：150名、会場：大阪ガスディリバ京都 パルホール 府内で郷土料理の伝承を行う食育推進リーダー等が各地域から集まり、地元の郷土料理の展示・PRを行った。30種類以上の郷土料理が集まり、試食を通じて、参加者と地域の郷土料理伝承者の交流が生まれ、参加者が郷土料理に触れる良い機会となった。 基調講演には森千鶴子氏をお招きし、「あるもの探しから始まる食育」というテーマでご講演いただいた。		
			


⑥ 生産者と消費者との生産現場での意見交換等交流の促進

取組事項	取組の内容	担当
意見交換・シンポジウムの開催 再掲(1)イ ⑥	食の安全に関する施策や取組について、消費者及び生産者等と各広域振興局ごとに意見交換を行うとともに、消費者及び生産事業者等と協働して食の安心・安全シンポジウムを開催し、食品の安全性に関する知識を啓発します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○食の安心・安全意見交換会を各広域振興局内及び京都市内で計5回開催。 (それぞれ10~50名程度の参加者) ○きょうと食の安心・安全フォーラム開催(1回) 開催日:平成26年1月30日(木)	A

取組事項	取組の内容	担当
環境にやさしい農業に取り組むエコファーマーと消費者の交流会の開催	プラットフォーム「えこふぁーまーファンくらぶ京都」と協働して、環境にやさしい農業への理解を深めるためエコファーマーと消費者との交流会を開催します。 目標:交流会 2回(うち1回は現地)	農産課
	取組の実績	評価
	エコファーマーと消費者の交流会を2回開催(参加者 計42名) ・25/7/21 現地視察・交流会(八幡市) 22名 ・26/1/25 野菜生産者の食べ当て交流会(ウイングス京都) 20名	A

取組事項	取組の内容	担当
京都米提供店の登録	京都府米食推進協会が、京都米を使用しているホテル、料理店を京都米提供店として登録し、登録章の交付式において、消費者、生産者、流通に関わる団体が意見交換を行います。 目標:25年度中に80店舗の登録	農産課
	取組の実績	評価
	京都米提供店登録証交付式(25/11/23) ・登録店舗数109店(昨年比34店舗拡大) ・登録店から京都米の利用状況や良さ、観光客、消費者の評価等を報告	A

取組事項	取組の内容	担当
都市漁村交流の促進	丹後の水産物に対する都市住民の理解を促進するため、丹後水産物のPRや漁業・漁村体験等の都市漁村交流事業を行う団体を支援します。	水産課
	取組の実績	評価
	京都府漁協(大浦支所)分 朝市の開催 3回(680名) 地曳き網体験 8回(432名)	A

取組事項	取組の内容	担当
消費者応援隊活動の実施(おいしい食の応援隊)	<p>消費者が生産者と一緒に農作業に汗を流し、地域の食材を使用した昼食や農産物のお裾分けで交流するなか、農家と顔の見えるお付き合いから相互応援の絆をつくり、地産地消をすすめ農山村を元気にします。</p>  <p>(梅 土用干し)</p>	南丹広域振興局(農林商工部)
	取組の実績	評価
	農作業を消費者が応援する消費者応援隊活動を8地区で計34回開催、農作業応援による絆づくりの交流は延べ780名に及びました。	
		A

取組事項	取組の内容	担当
食育コーナーの設置による食育啓発活動の実施	<p>10/19~11/19を、京都丹波「食」と「農」が結ぶ健康月間として設定し、月間内での食に関する市町イベントに食育コーナーを併設し、食育啓発に取り組みます。</p>	南丹地域食の安心・安全プロジェクトチーム(南丹広域振興局農林商工部、企画総務部、南丹保健所、南丹家畜保健衛生所、南丹教育局)
	取組の実績	評価
	<p>京都丹波地域の豊かな農林畜産資源や市町等による食育や地産地消に係る取組を紹介するパネルを、京都府及び管内2市1町の役場における来庁者の目につきやすい場所に展示し、啓発を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 10/19~11/19 <ul style="list-style-type: none"> 亀岡市役所エントランスホール、南丹市役所2号庁舎階段踊り場、京丹波町役場本館フロアー、京都府亀岡総合庁舎玄関ロビー、京都府園部総合庁舎玄関ロビー 10/19、10/20 <ul style="list-style-type: none"> 京都丹波 EXPO2013 (すばーく園部) 10/27 <ul style="list-style-type: none"> 京丹波●食の祭典 2013 (京都府立丹波自然運動公園) 	
		A

取組事項	取組の内容	担当
中丹“食の環”づくり交流会の開催	<p>生産者や食生活改善推進員、地域の個性的な飲食店や給食施設従事者、生活改善グループ等、関係者が集まり地産地消や食育を推進していくため、情報交換などの交流会を開催します。</p>	中丹広域振興局(農林商工部企画調整室、中丹東・西農業改良普及センター、中丹西・東保健所)、水産事務所
	取組の実績	評価
	平成21年度から実施してきた中丹“食の環”づくり交流会は、関係機関で協議を重ねる中、事業の発展性が期待できず、関係機関で構成されていた中丹“食の環”づくりプロジェクトチームは解散となり、今後は関係機関の相互協力により地域の食育を推進していくこととなった。	
		B

⑦ 食の安心・安全についての関係機関と連携した情報提供

取組事項	取組の内容	担当
きょうと健康長寿推進府民会議	保健所におけるきょうと健康長寿推進府民会議を通じて、 参画関係団体と連携し、府民へ生涯にわたる健康づくりに 役立つ情報を提供します。 ＜きょうと健康長寿推進府民会議＞ 「新しい歴史に向かって走ろう府民運動」の一環として、 総合的な府民の健康づくり指針「きょうと健やか21」に 基づき、府民一人ひとりが健康で豊かな社会生活を営むた め、自ら健康づくりに取り組むとともに、各関係団体が連 携を図りながら、それぞれの特性を生かした事業の実施や 支援を行い、府民の自主的な健康づくりの一層の推進を図 る。	各保健所 健康対策課
	取組の実績	評価
	○きょうと健康長寿推進府民会議を開催し、健康づくりに関する情報提供を行った。 (1/30実施) 総会62名、講演会135名が参加。	

取組事項	取組の内容	担当
京都の伝統食品や加工技術を紹介する展示会等の開催	京都の長い歴史の中で培われた伝統食品の展示、加工技 術の紹介を通じて、京の食やその大切さについて知っても らう機会を提供します。 伝統食品等の展示・加工技術の紹介・体験学習教室 実施主体：一般社団法人京都府食品産業協会	染織・工芸課
	取組の実績	評価
	○伝統食品等の展示会、体験学習教室、食文化・食育塾（京のひなまつり講座）の 実施 開催日：平成26年2月14日（金）～2月16日（日） 場 所：しまだいギャラリー（京都市中京区） 内 容： ・京菓子、京そうざい、京漬物、京湯葉等の展示及び紹介 ・宇治茶・抹茶体験教室（石臼を使った抹茶の手挽体験及び抹茶の点て方・飲み方 教室の開催） ・京そうざいを活用したひなまつり講座の開催	

取組事項	取組の内容	担当
意見交換・シンポジウムの開催 再掲(1)イ⑥	食の安全に関する施策や取組について、消費者及び生産 者等と各広域振興局ごとに意見交換を行うとともに、消費 者及び生産事業者等と協働して食の安心・安全シンポジウ ムを開催し、食品の安全性に関する知識を啓発します。	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○食の安心・安全意見交換会を各広域振興局内及び京都市内で計5回開催。 (それぞれ10～50名程度の参加者) ○きょうと食の安心・安全フォーラム開催(1回) 開催日：平成26年1月30日(木)	

取組事項	取組の内容	担当
京都府及び関係機関の「食」に関する情報の提供	ホームページ・メールマガジン等で「食」に関する情報を提供します。 <きょうと食育情報> http://www.pref.kyoto.jp/shokuiku/index.html <食の安心・安全きょうと> http://www.pref.kyoto.jp/shoku-anshin/index.html	食の安心・安全推進課
	取組の実績	評価
	○ホームページは随時更新。メールマガジンは各週で配信。 【メールマガジン登録者数】（平成26年3月末時点） ・食育メールマガジン：326人 ・食の安心・安全メールマガジン：328人	


取組事項	取組の内容	担当
京都発！食とみどりのサイエンスNOW	府民の皆さんに、農林水産技術の最新の研究成果をわかりやすく紹介し、開発された技術が府民生活の向上につながることを理解していただきます。 目標値：平成25年度 1回開催	農林水産技術センター企画室（研究普及ブランド課）
	取組の実績	評価
	H26年2月22日に府立植物園で、「宇治茶」と「京の酒」をテーマに研究成果や最新情報について講座を実施。参加人数100名	

取組事項	取組の内容	担当
「海まるごと体験」の実施	様々な体験を通じて、京都府の海や魚、漁業への理解を促進する機会を提供します。 目標値：平成25年度 1回開催	海洋センター（研究普及ブランド課）
	取組の実績	評価
	平安丸の乗船体験や魚の解体、稚魚の放流など様々な体験を実施。 参加者155名（平成25年7月26日に開催）	

⑧ 社会福祉団体、商店街、流通事業者等と連携した調理実習体験や買い物弱者支援

取組事項	取組の内容	担当
高齢者等への買い物支援 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再掲(1)エ①</div>	商店街団体等が実施する、高齢者等の買い物弱者の買物の利便を高め、生活の質の向上を図るとともに商店街の振興につながる事業を支援します。	商業・経営支援課
	取組の実績	評価
	○H25年度は1団体が高齢者等の買い物弱者を対象とした食材の宅配事業を実施。 ○商店街団体等が地域の声を聞き、ニーズを把握するための協議組織の設置・運営については1団体が実施。	

⑨ 優良事例の紹介及び取組の拡大

取組事項	取組の内容	担当
きょうと×きょうど料理サミットの開催 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">再掲(1)ア④</div>	和食のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運を醸成し、地域に根ざした郷土料理などを次の世代に伝承し、育んでいくため、「きょうと×きょうど料理サミット」を開催し、広く府民に郷土料理や地域の食文化の魅力を伝えます。	食の安心・安全推進課
取組の実績		評価
○きょうと×きょうど料理サミットを開催（平成26年1月18日（土）） 参加者：150名、会場：大阪ガスディリバ京都 パルホール 府内で郷土料理の伝承を行う食育推進リーダー等が各地域から集まり、地元の郷土料理の展示・PRを行った。30種類以上の郷土料理が集まり、試食を通じて、参加者と地域の郷土料理伝承者の交流が生まれ、参加者が郷土料理に触れる良い機会となった。 基調講演には森千鶴子氏をお招きし、「あるもの探しから始まる食育」というテーマでご講演いただいた。		A 




取組事項	取組の内容	担当
食育シンポジウムの開催	京都ならではの食育を推進するために、企業等と協働して、府内の食育実践者、教育関係者や府民などが集まる食育シンポジウムを開催します。 ○8月3日（土） 京都リサーチパーク	食の安心・安全推進課
取組の実績		評価
○「世界に誇る 和の食文化」をテーマに食育シンポジウムを開催（平成25年8月3日（土）） 参加者：250名、会場：京都リサーチパークバズホール 和食のユネスコ無形文化遺産登録に向けて、府民の意識を醸成するために、「世界に誇る 和の食文化」をテーマに東京農業大学名誉教授の小泉武夫先生に基調講演をいただくとともに、京都府内の食文化の伝承の取組についてきょうと食いく先生2名が事例報告を行った。		A 


取組事項	取組の内容	担当	
「きょうと食育事例集」の作成	「きょうと食育ネットワーク」を通じて、地域・団体等による食育の取組について調査を行い、優良なモデル事例を掲載した冊子を作成するとともに、きょうと食育ネットワーク会員等にモデル事例を紹介する等、府内全域への普及・拡大を図ります。	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	A
	○「きょうと食育ネットワーク」において、「平成25年度きょうと食育事例集」を作成。(掲載事例数 76)		

取組事項	取組の内容	担当	
市町村食育推進計画の策定支援	食育先進市町村の担当者招いての研修・懇談会の開催や、市町村の事情に応じた助言等を行い、市町村食育推進計画の策定を支援します。 目標：計画策定市町村数 20/26市町村	食の安心・安全推進課	
	取組の実績	評価	B
	○新たに京丹後市が策定。 (平成25年度末時点で17市町が策定) ○台風による被害の影響で、府内市町村食育担当課長会議を開催は見送った。		

取組事項	取組の内容	担当	
管内市町が策定する食育推進計画の策定支援	管内市町の食育推進計画の策定や進行管理を含む食育推進に関する支援を行います。 (目標値：乙訓管内市町食育推進担当者会議の開催)	乙訓保健所 乙訓教育局 京都乙訓農業改良普及センター	
	取組の実績	評価	A
	乙訓管内市町食育担当課長・関連部局担当者会議の開催。 (7月18日 2市1町 25名出席 1回開催) ・長岡京市食育推進委員会に参加 (1回)		

(3) 地域における食育の推進

取組事項	取組の内容	担当
山城の食育の取組情報を発信	山城の食育の取組事例等をホームページで紹介し、府民に食育の推進を図ります。	山城広域振興局農林商工部
	取組の実績	評価
	<p>京都府ホームページ内に開設している「地元産やさいを食べよう」ページに京都文教短期大学食物栄養学科坂本教授ゼミ（学生12名）と協働で制作した幼児向け食育応援グッズを掲載し貸し出しできることを呼びかける等、食育の推進に活用できる情報提供を実施。</p> <p>また、保育園・幼稚園の先生や農業者等が参加し実施した「平成25年度食育関係者交流会（H26.1.21）」においても紹介した。</p>	A
	  	<p>やさいシルエットクイズ</p> <p>やましろやさいパズルゲーム</p> <p>やましろすごろく</p>

取組事項	取組の内容	担当
食育・地産地消啓発パネルの作成・展示	食育・地産地消啓発パネルを追加作成し、市町村や直売所等に展示し、府民に食育の啓発を図ります。	山城広域振興局農林商工部
	取組の実績	評価
	<p>食育啓発パネルを6種類追加作成 合計17種類のパネルを府関係機関・市町村等34カ所で展示。</p> <p>京都府ホームページ内に開設している「地元産やさいを食べよう」ページに掲載し、貸し出し出来ることを呼びかけている。</p>	A
		

取組事項	取組の内容	担当
丹後食育活動事例の募集	平成24年度に募集した食育事例について、事例集作成配布、ホームページ等を通して府民に普及します。	丹後保健所
	取組の実績	評価
	食育事例を関係機関に配布するとともにホームページに掲載、各事業での紹介等を通して府民に普及した。	A

3 数値目標

事項		当初 (21年度)	25年度 達成状況	25年度 目標	達成目標 (平成27年度)	説明
1	学校給食への地元農産物の供給品目数の割合	22.7%	17.1% (乳類除く 17.2%)	22.0% (乳類除く21.0%)	30%以上	学校給食に地元農産物を使用し、食に関する指導の「生きた教材」として活用することは、地域の農業や食文化への理解を深めるとともに、生産者の努力や、食に関する感謝の念を育む上で重要であるほか、地産地消にもつながるものです。このようなことから、学校給食への地元農産物の供給品目数の割合を30%以上とすることを目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課、教育庁保健体育課調べ)
2	保護者を含めた参加型食育を実施している保育所数の割合	90.7%	100.0%	100%	100%	乳幼児は自らにおいて食を確保することが困難であることから、保護者等の食を提供する者への食育が重要である。このことから、保育所等の給食施設支援を通じて保護者を含めた参加型食育を実施している保育所の割合を100%にすることを目指します。 (京都府健康福祉部健康対策課調べ)
3	むし歯のない府内小学生の割合	38.9%	46.1%	43.5%	43.9%以上	生涯にわたり、健康で豊かな生活を過ごすためには、十分な口腔機能の発達、維持が必要です。食生活を含め生活習慣とむし歯・歯周病の発生は極端に関係が深いことから、むし歯のない小・中学生の割合の増加を目指します。 (京都府教育庁保健体育課調べ)
	むし歯のない府内中学生の割合	51.3%	60.3%	57.4%	56.3%以上	
4	食育に関心を持っている府民の割合	84.0%	90.0%	90%以上	90%以上	食育を府民運動として推進し、その成果を上げるためには、府民一人ひとりが自ら食育の実践を心掛ける必要がありますが、これにはまずより多くの府民に食育への関心を持ってもらうことが欠かせません。このようなことから、食育に関心を持っている府民の割合(食育に関心がある又はどちらかといえば関心がある)を、90%以上とすることを目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)
5	朝食を毎日食べる府内小学生の割合	87.5%	87.3%	91.0%	95%以上	子どもの食生活の乱れが様々な場面で指摘されており、成長段階からの食の問題は、子どもの将来にわたる心身の健康に大きな影響を及ぼすことが懸念されています。健康的な生活リズムや生活習慣を確立するため、1日の始まりである朝食を毎日食べる子どもの割合の増加を目指します。 (文部科学省「全国学力・学習状況調査」)
	朝食を毎日食べる府内中学生の割合	78.1%	82.1%	84.0%	90%以上	
6	食農体験農場の数	0箇所	10箇所	15箇所	20箇所以上	命と食の大切さを理解するためには、知識だけではなく、農作業や調理などの体験が効果的です。未来を担う子どもをはじめ府民が、五感をいきいきと発揮させ、種まきから施肥・除草、収穫、加工・調理まで一連の体験ができる機会を増やすため、「食農体験農場」の増加を目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)
7	「きょうと食いく先生」の数	0人	83人	50人以上	100人以上	学校や地域において田植えや収穫体験等が農業者を講師として実施されていますが、農作業や調理体験を体系的に指導できる人材が少なく、一部の農家に集中しています。学校の農作業体験の充実や望や府民の食農体験のニーズに対応できるよう、農業体験等を体系的に指導できる農業者を「食農教育サポーター(仮称)」として養成し、その増加を目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)
8	食育の推進に関わるボランティアの数	4,500人	4,801人	5,200人以上	5,000人以上	食育を府民運動として推進し、府民一人ひとりの食生活において実践してもらうためには、食生活の改善等のために府民の生活に密着した活動に携わるボランティアが果たしている役割が重要です。このようなことから、食育の推進に関わるボランティアの数の増加を目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)
9	食情報提供店の店舗数	460店	555店	590店	800店以上	生活スタイルの変化等から、外食への依存度が高まりつつあり、こうした状況に対応して府民の健康づくりを進めるためには、家庭内の食事だけでなく、外食・中食も含めた生活支援が必要です。このようなことから、飲食店等が提供メニュー等に健康や栄養に関する情報の提供を行う「食情報提供店」が800店以上となることを目指します。 (京都府健康福祉部健康対策課調べ)
10	食育推進計画作成市町村の数	23% [6市町]	65% [17市町]	77% [20市町村]	100% [26市町村]	食育を府民運動として推進していくには、府全域においてその取組が進められることが必要です。食育基本法では、市町村に推進計画を作成するよう努めることが求められており、各市町村において計画を作成し、その地域の特色を生かした食育が推進されることが重要です。このようなことから、推進計画を作成・実施している市町村の割合を100%にすることを目指します。 (京都府農林水産部食の安心・安全推進課調べ)